

ひとが賑わうまち

【基本施策1】

インフラ整備プロジェクト

行橋市実施計画シート 令和2年度実施計画事業対象

事業番号	3010		事業名	耐震促進事業			新規・既存の別	既存		
課名	建築政策課			係名	建築係	主管課長名	シート作成者名			
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成 26 年度 ~ 令和 4 年度				
	施策項目	2. 住環境の充実				根拠法令等	行橋市耐震改修促進計画/建築基準法			
事業概要	<p>【耐震改修・耐震シェルター等設置】昭和56年5月31日以前に着工した木造戸建て住宅の耐震診断に係る費用6,000円、耐震診断の結果、耐震性がない住宅を耐震改修する工事費の50%に相当する額(上限金額60万円)を補助する。(H26~R4年度)</p> <p>※効果促進事業が令和2年度で終了するため令和3年度から基幹事業(総合支援メニュー)に切替、住宅耐震化緊急促進アクションプログラムの策定が必須となる。</p> <p>【ブロック塀等撤去】道路に面する高さが1メートル以上のブロック塀等で診断カルテ40点未満のもの撤去、又は、事業完了後に診断カルテ70点以上となるもの一部撤去に係る費用の50%に相当する額(上限金額10.9万円)を補助する。(R1~R4年度)</p> <p>※効果促進事業が令和2年度で終了するため令和3年度から基幹事業(総合支援メニュー)に切替、行橋市耐震改修促進計画の改定が必須となる。</p>					事業の性質(複数選択可)				
達成のめやす	令和4年度までに耐震化率90%を目標とする。(行橋市耐震改修促進計画) 令和4年度までに危険なブロック塀等をゼロにする。(建築基準法)					<input checked="" type="radio"/> 1 継続性のある事業 <input type="radio"/> 2 緊急性の高い事業 <input type="radio"/> 3 人口増加に寄与する事業 <input type="radio"/> 4 住民サービス向上事業 <input checked="" type="radio"/> 5 防災関連事業 <input type="radio"/> 6 総合戦略対象事業 <input type="radio"/> 7 その他( )				
留意事項										
期待する効果	木造戸建て住宅の耐震化率の向上により、地震に強い安全・安心なまちを整備する。市民の耐震に対する意識啓発を図る。災害時における通学路や避難路等の安全と通行を確保するため、地震による倒壊の危険性が高いブロック塀の改善を加速し、安全・安心のまちづくりを推進する。					優先順位マトリックス(ハード事業のみ) 4				
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		最終目標			
	耐震5件/ブロック塀20件		耐震4件/ブロック塀20件		耐震4件/ブロック塀20件		木造戸建て住宅耐震化率90% /危険なブロック塀等をゼロにする			
右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒		予算計上の耐震改修補助及びブロック塀等撤去補助件数分の改修を進める。								
年度の事業内訳	令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業の位置づけ			
	耐震診断費補助金(20件)	120千円	耐震診断費補助金(20件)	120千円	耐震診断費補助金(20件)	120千円	耐震診断・耐震改修を進めることにより耐震化率を向上させる。(目標90%) 危険なブロック塀等を撤去することにより、地震に強い安全・安心なまちづくりを目指す。 (この欄には事業全体の内容を記載のこと)			
	耐震改修工事費補助金(3件)	1,800千円	耐震改修工事費補助金(4件)	2,400千円	耐震改修工事費補助金(4件)	2,400千円				
	耐震シェルター等設置補助金(2件)	600千円	ブロック塀等撤去補助金(20件)	2,180千円	ブロック塀等撤去補助金(20件)	2,180千円				
	ブロック塀等撤去補助金(20件)	2,180千円	アクションプログラム策定事務	641千円	アクションプログラム策定事務	641千円				
	事務費	59千円	事務費	279千円	事務費	279千円				
事業計画(事業費、単位:千円)										
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業費		
財源内訳	国	1,580		2,280		2,280		10,230		
	県	1,780		1,140		1,140		11,560		
	地方債	0		0		0		0		
	負担金	0		0		0		0		
	その他	0		0		0		0		
	一般財源	1,399		2,200		2,200		10,693		
合計	4,759		5,620		5,620		32,483			
予算費目	会計	一般会計			会計	土木費		費		
補助金	あり	⇒	名称	社会資本整備総合交付金 福岡県木造戸建て住宅耐震促進事業補助金 福岡県ブロック塀等撤去促進事業補助金	対象事業費	2400/2180 2400千円 2180	補助率(%)	50.0%/50.0% 25.0% 25.0%	補助予定額	1200/1080 600千円 540
地方債		⇒	名称		対象事業費	千円	充当率(%)		充当予定額	千円

行橋市実施計画シート 令和2年度実施計画事業対象

事業番号	3250	事業名	市営住宅長寿命化改修事業				新規・既存の別	既存		
課名	建築政策課		係名	市営住宅係	主管課長名		シート作成者名			
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				令和 2 年度 ~ 令和 11 年度				
	施策項目	2. 住環境の充実				根拠法令等	公営住宅法/公営住宅等整備事業対象要綱			
事業概要	行橋市営住宅長寿命化計画に基づく外壁・屋根等の改修を行う。(R2~R11年度) ※平成22年計画の策定、令和2年同計画の見直しを行っており、今後10年計画に沿った改善を実施する。 入居者の退去に伴い、耐用年数を経過した住宅の解体を行う。(H27年度~)					事業の性質(複数選択可)				
達成のめやす	一定の居住性や安全性が確保されている住宅について耐久性の向上、設備を改修する。 老朽化して危険な住宅を解体する。					●	1 継続性のある事業			
留意事項	市営住宅の耐用年限が経過する前に予防保全的な改修を行う。 防犯、安全対策のため早急に解体を完了させる。						2 緊急性の高い事業			
						●	3 人口増加に寄与する事業			
期待する効果	予防保全的な改修を行うことで、耐久性・防水性を高め建物の長寿命化を図る。 老朽化し安全性に問題のある住宅を解体することにより、安全性、防災性の向上をはかる。					●	4 住民サービス向上事業			
						●	5 防災関連事業			
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度		令和3年度		令和4年度	優先順位マトリックス(ハード事業のみ)				
	長寿命化1%/解体6棟		長寿命化4%/10棟		長寿命化4%/解体10棟	5				
年度の事業内訳	令和2年度		令和3年度		令和4年度	最終目標				
	今川団地改修(3戸) 4,800,000円 住宅解体(6戸) 3,600,000円 桜町団地送水ポンプ交換 4,235,000円 事務費 352,000円		東大橋第2団地改修(6戸) 7,200,000円 住宅解体(10戸) 6,000,000円 事務費 352,000円		辰第2団地調査・設計(60戸) 7,200,000円 住宅解体(10戸) 6,000,000円 事務費 352,000円	長寿命化型改善の考え方にそって改修工事をおこない、 安全で快適な住まいを長期的に確保する。 老朽化した住宅を解体し、安全性、防災性の向上を図る。  (この欄には事業全体の内容を記載のこと)				
事業計画(事業費、単位:千円)										
財源内訳	令和2年度		令和3年度		令和4年度	全体事業費				
	国	2,945	5,049		5,049	157,100				
	県	0	0		0	0				
	地方債	1,900	3,300		0	152,900				
	負担金	0	0		0	0				
	その他	0	0		0	0				
	一般財源	8,142	5,203		8,503	109,175				
	合計	12,987	13,552		13,552	419,175				
予算費目	会 計	一般会計		会 計	費目名	土木	費			
補助金	あり	⇒	名称	社会資本整備総合交付金	対象事業費	11,220 千円	補助率(%)	45.0%	補助予定額	5,049 千円
地方債	あり	⇒	名称	公営住宅整備事業債	対象事業費	6,120 千円	充当率(%)	100.0%	充当予定額	3,300 千円

事業番号	3293	事業名	空家対策事業				新規・既存の別	既存		
課名	環境課		係名	環境係		主管課長名	シート作成者名			
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成	年度	~	令和	年度
	施策項目	2. 住環境の充実				根拠法令等				
事業概要	適切な管理が行われていない空家等が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることからその対策を行う。 条例等に基づき、老朽危険家屋に対して除却費用の助成を行う。					事業の性質(複数選択可)				
達成のめやす	適切な管理が行われていない空家等の対策を行う。					<input checked="" type="radio"/> 1 継続性のある事業 <input type="radio"/> 2 緊急性の高い事業 <input type="radio"/> 3 人口増加に寄与する事業 <input type="radio"/> 4 住民サービス向上事業 <input type="radio"/> 5 防災関連事業 <input type="radio"/> 6 総合戦略対象事業 <input type="radio"/> 7 その他( )				
留意事項										
期待する効果	適切な管理が行われていない空家等の対策を行うことにより、地域住民の生活環境の向上が図れる。					優先順位マトリックス(ハード事業のみ)				
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		最終目標			
	管理されていない空家の対策		管理されていない空家の対策		管理されていない空家の対策		管理されていない空家の対策			
		右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒								
年度の事業内訳	令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業の位置づけ			
	老朽危険家屋除却助成金 300,000円×6件=1,800,000円 老朽危険家屋解体費用 2,000,000円×1件=2,000,000円 事務費 460,000円		老朽危険家屋除却助成金 300,000円×6件=1,800,000円 老朽危険家屋解体費用 2,000,000円×1件=2,000,000円 事務費 427,000円		老朽危険家屋除却助成金 300,000円×6件=1,800,000円 老朽危険家屋解体費用 2,000,000円×1件=2,000,000円 事務費 427,001円		(この欄には事業全体の内容を記載のこと)			
事業計画(事業費、単位:千円)										
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業費		
財源内訳	国	900		900		900		0		
	県	0		0		0		0		
	地方債	0		0		0		0		
	負担金	0		0		0		0		
	その他	0		0		0		0		
	一般財源	3,360		3,327		3,327		0		
	合計	4,260		4,227		4,227		0		
予算費目	会 計	会 計		費目名		費				
補助金	あり	⇒	名称	社会資本整備総合交付金	対象事業費	4,227 千円	補助率(%)	21.3%	補助予定額	900 千円
地方債		⇒	名称		対象事業費	0 千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0 千円

事業番号	2169	事業名	児童遊園施設補修工事費				新規・既存の別	既存	
課名	土木課		係名	公園・道路維持係	主管課長名		シート作成者名		
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)			
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成	26	年度	～ 令和 年度
	施策項目	3. 公園の整備				根拠法令等			
事業概要	市内の児童遊園170箇所の内、遊具設置遊園(116箇所、407施設)について安全点検(平成30年度に実施)に基づき危険判定施設より撤去または更新を行い、利用者が安心して利用できる公園環境づくりを行うもの。また、危険遊具の撤去後に地元より遊具の再設置要望もあるため、遊具の更新についても検討していく。将来的には遊具を減少させ維持費用のコスト縮減を計る。また必要最低限の施設を把握することにより利用価値の高いものにしていくものである。					事業の性質(複数選択可)			
達成のめやす	児童遊園内での事故発生の未然防止、利用者が安心して利用できる公園施設の実現。					<input checked="" type="radio"/>	1	継続性のある事業	
留意事項	遊具の設置に関しては利用状況を十分に把握して行う。					<input checked="" type="radio"/>	2	緊急性の高い事業	
						<input checked="" type="radio"/>	3	人口増加に寄与する事業	
期待する効果	安全点検を実施し、危険と診断された遊具を撤去および更新することにより、安全な公園環境づくりが実現できる。					<input checked="" type="radio"/>	4	住民サービス向上事業	
						<input type="radio"/>	5	防災関連事業	
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		最終目標		
	事故件数 0件		事故件数 0件		事故件数 0件		事故件数 0件		
右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒		児童遊園内での事故件数を0とすること。							
年度の事業内訳	令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業の位置づけ		
	遊具撤去工事(D判定) 5基 * 100,000=500,000円 遊具施設更新工事 3基 * 1,000,000=3,000,000円		遊具撤去工事(D判定) 5基 * 100,000=500,000円 遊具施設更新工事 3基 * 1,000,000=3,000,000円		遊具撤去工事(D判定) 5基 * 100,000=500,000円 遊具施設更新工事 3基 * 1,000,000=3,000,000円		遊具1基あたり10万円の撤去費計上。4年に1度で遊具の安全点検を実施。(以前はH26,30年度)開発行為により、児童遊園数は増加する。また期間設定できる事業ではないため全体事業費の見積不能。  (この欄には事業全体の内容を記載のこと)		
事業計画(事業費、単位:千円)									
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業費	
財源内訳	国	0		0		0		0	
	県	0		0		0		0	
	地方債	0		0		0		0	
	負担金	0		0		0		0	
	その他	0		2,450		0		0	
	一般財源	3,500		1,050		3,500		0	
	合計	3,500		3,500		3,500		0	
予算費目	会 計	一般		会 計	費目名	土木		費	
補助金	なし	⇒	名称	対象事業費	0千円	補助率(%)	0.0%	補助予定額	0千円
地方債	なし	⇒	名称	対象事業費	0千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0千円

事業番号	事業名 道路等施設管理台帳作成業務					新規・既存の別	新規		
課名	土木課		係名	公園・道路維持係	主管課長名	シート作成者名			
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			令和 3 年度	～	令和 5 年度		
	施策項目	3. 公園の整備			根拠法令等				
事業概要	土木課で管理している児童遊園、河川、道路構造物(街路樹、カーブミラー、街灯)の台帳を作成し適切な管理を行う。 児童遊園台帳 5,000,000円 道路構造物台帳(街路樹、カーブミラー、街灯) 5,000,000円 河川台帳 10,000,000円					事業の性質 (複数選択可)			
達成のめやす	土木課が管理している施設の台帳を作成する。					<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業		
留意事項	編集が容易に出来るデジタル化の台帳を作成する。					<input type="radio"/>	2 緊急性の高い事業		
						<input checked="" type="radio"/>	3 人口増加に寄与する事業		
期待する効果	台帳を作成することにより安全性・快適性を確保する。					<input checked="" type="radio"/>	4 住民サービス向上事業		
						<input type="radio"/>	5 防災関連事業		
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		最終目標		
			33%		66%		100%		
年度の事業内訳	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒					優先順位マトリックス (ハード事業のみ)			
	令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業の位置づけ		
		児童遊園台帳 N=1式		道路構造物台帳 N=1式		児童遊園台帳 N=1式 道路構造物台帳 N=1式 河川台帳 N=1式  (この欄には事業全体の内容を記載のこと)			
事業計画(事業費、単位:千円)									
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業費	
財源内訳	国	0		0		0		0	
	県	0		0		0		0	
	地方債	0		0		0		0	
	負担金	0		0		0		0	
	その他	0		0		0		0	
	一般財源	0		5,000		5,000		20,000	
	合計	0		5,000		5,000		20,000	
予算費目	会 計	一 般		会 計	費 目 名	土 木		費	
補助金	なし	⇒	名称	対象事業費	0 千円	補助率(%)	0.0%	補助予定額	0 千円
地方債	なし	⇒	名称	対象事業費	0 千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0 千円

事業番号	3430	事業名	長浜公園整備事業				新規・既存の別	既存				
課名	都市政策課		係名	市街地整備係	主管課長名			シート作成者名				
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)						
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成	30	年度	～	令和	4	年度
	施策項目	3. 公園の整備				根拠法令等	都市公園法					
事業概要	本市の都市公園は、現在、33箇所、31.46haで、人口1人当たりの面積は4.29㎡/人であり、福岡県平均8.35㎡と比較して公園が不足している状況です。本事業は、行事団地跡地を活用して本市の公園の不足解消を図ると共に行事北校区の防災・健康増進に寄与する新たな都市公園を整備するものです。					事業の性質 (複数選択可)						
達成のめやす	公園の整備が完了すること。					<input type="checkbox"/> 1 継続性のある事業 <input type="checkbox"/> 2 緊急性の高い事業 <input type="checkbox"/> 3 人口増加に寄与する事業 <input checked="" type="checkbox"/> 4 住民サービス向上事業 <input checked="" type="checkbox"/> 5 防災関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> 6 総合戦略対象事業 <input type="checkbox"/> 7 その他 ( )						
留意事項	社交金(都市公園ストック再編事業)を活用する予定。令和2年度については、補助申請に必要な事務手続きを行う。(都市計画決定及び緑の基本計画への位置付)											
期待する効果	都市公園面積の増加及び行事北校区の防災・健康増進に寄与					優先順位マトリックス(ハード事業のみ)						
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		最終目標					
	100%						進捗率100%					
年度の事業内訳	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒											
	令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業の位置づけ					
都市計画決定 緑の基本計画 項目追加 補助申請		公園整備工事 (造成・電気・設備) 道路工事		公園整備工事 (舗装・管理棟建築・植栽等)		(この欄には事業全体の内容を記載のこと)						
事業計画(事業費、単位:千円)												
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業費				
財源内訳	国	0		50,000		50,000		100,000				
	県	0		0		0		0				
	地方債	0		45,000		45,000		90,000				
	負担金	0		0		0		0				
	その他	0		112,431		0		112,431				
	一般財源	316		0		5,300		34,164				
	合計	316		207,431		100,300		336,595				
予算費目	会 計	一般会計		会 計	費目名	土木費		費				
補助金	あり	⇒	名称	社会資本整備総合交付金	対象事業費	100,000 千円	補助率(%)	50.0%	補助予定額	50,000 千円		
地方債	あり	⇒	名称	公共事業等債	対象事業費	50,000 千円	充当率(%)	90.0%	充当予定額	45,000 千円		

事業番号	3423	事業名	今川PA交流拠点整備事業				新規・既存の別	既存		
課名	都市政策課PA事業推進室	係名	PA事業推進係	主管課長名		シート作成者名				
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成 29 年度	～ 令和 8 年度			
	施策項目	3. 公園の整備				根拠法令等	都市公園法			
事業概要	市場性が担保された既存ストックである今川PAと連結した交流拠点(ハイウェイ・オアシス)を整備し、その運営を通じて市経済の課題解決に官民連携で取り組み、地域経済活性化に繋げるための事業(課題解決型PPP/PFI事業) 行橋市都市公園条例に定める住民1人あたりの都市公園面積の目標(10㎡)、行橋市緑の基本計画「都市公園の整備方針」P52に基づく、住区基幹公園(地区公園)を整備するための事業					事業の性質(複数選択可)				
達成のめやす	交流拠点整備が完了したとき					<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業			
留意事項	事業効果や民間事業者の活力を維持しつつ、市の財源負担を最大限抑えた事業スキームの構築、産業振興施策からの後方支援等					<input checked="" type="radio"/>	2 緊急性の高い事業			
						<input checked="" type="radio"/>	3 人口増加に寄与する事業			
期待する効果	経済波及効果約113.3億円、都市公園不足への貢献(行橋市緑の基本計画P56)					<input checked="" type="radio"/>	4 住民サービス向上事業			
						<input checked="" type="radio"/>	5 防災関連事業			
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		最終目標			
	30%		40%		50%		100%			
右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒		交流拠点整備完了を100%として、進捗率により達成度を測る。								
年度の事業内訳	令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業の位置づけ			
	連結協議及びその費用に係る財源の検討 民間事業者の参画及び競争等を促進するための市経済分析 都市公園整備事業補助金要望		連結協議及び協議会の運営等(継続) 農振地域除外手続き 都市計画決定 都市公園整備事業補助金要望及び申請 都市公園事業認可の取得 都市公園の魅力向上に関する調査等		連結協議及び協議会の運営等(継続) 都市公園事業認可の取得(継続) 補償費等の算出・事業対象地の取得 事業手法に関する調査(サウンディング型市場調査、事業費及びVFMの精査、事業手法の確定※暫定から確定に変更)		課題解決型PFI事業(BTO方式・混合型) 都市公園(新規)整備事業  (この欄には事業全体の内容を記載のこと)			
事業計画(事業費、単位:千円)										
財源内訳	令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業費			
	国	0	0	166,666	1,566,666					
	県	0	0	0	0					
	地方債	0	0	0	0					
	負担金	0	0	0	0					
	その他	12,766	0	0	0					
	一般財源	6,426	513	333,334	2,933,334					
	合計	19,192	513	500,000	4,500,000					
予算費目	会計	一般	会計	費目名	土木	費				
補助金	あり	⇒	名称	社会資本整備総合交付金	対象事業費	0千円	補助率(%)	0.0%	補助予定額	0千円
地方債		⇒	名称		対象事業費	0千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0千円



事業番号	3775	事業名	行橋駅前広場管理事業				新規・既存の別	既存	
課名	都市政策課		係名	市街地整備係	主管課長名	シート作成者名			
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			令和	年度	～ 令和	年度	
	施策項目	4. 景観・自然環境の保全			根拠法令等	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律			
事業概要	行橋駅前広場の樹木を維持管理し、広場の安全性・快適性を確保するため、行橋駅前広場の剪定委託するものである。				事業の性質(複数選択可)				
達成のめやす	行橋駅前広場の安全性・快適性を確保				<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業			
					<input type="radio"/>	2 緊急性の高い事業			
					<input type="radio"/>	3 人口増加に寄与する事業			
					<input checked="" type="radio"/>	4 住民サービス向上事業			
					<input type="radio"/>	5 防災関連事業			
					<input type="radio"/>	6 総合戦略対象事業			
					<input type="radio"/>	7 その他( )			
留意事項									
期待する効果	行橋駅前の景観保全及び安全性確保に寄与				優先順位マトリックス(ハード事業のみ)				
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	最終目標					
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒								
年度の事業内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業の位置づけ					
		行橋駅前広場樹木剪定委託料 1,000,000円		(この欄には事業全体の内容を記載のこと)					
事業計画(事業費、単位:千円)									
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業費				
財源内訳	国	0	0	0	0				
	県	0	0	0	0				
	地方債	0	0	0	0				
	負担金	0	0	0	0				
	その他	0	0	0	0				
	一般財源	0	1,000	0	1,000				
	合計	0	1,000	0	1,000				
予算費目	会計	一般会計		会計	費目名	総務費	費		
補助金	なし	⇒	名称	対象事業費	0千円	補助率(%)	0.0%	補助予定額	0千円
地方債	なし	⇒	名称	対象事業費	0千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0千円

事業番号	2252	事業名	環境対策事業				新規・既存の別	既存		
課名	環境課		係名		環境係		主管課長名		シート作成者名	
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成	年度	~	令和	年度
	施策項目	4. 景観・自然環境の保全				根拠法令等				
事業概要	椿市地区(3箇所)及び菟島地区(2箇所)の地下水水質検査業務						事業の性質(複数選択可)			
達成のめやす	検査結果が基準値内であること。						<input checked="" type="radio"/> 1 継続性のある事業 <input checked="" type="radio"/> 2 緊急性の高い事業 3 人口増加に寄与する事業 4 住民サービス向上事業 5 防災関連事業 6 総合戦略対象事業 7 その他( )			
留意事項										
期待する効果	地域住民の安心・安全						優先順位マトリックス(ハード事業のみ)			
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		最終目標			
	地下水検査を行う		地下水検査を行う		地下水検査を行う		水質の管理保全に努める。			
右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒		地下水項目(27項目)及び飲料水項目(11項目)について検査を行う。								
年度の事業内訳	令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業の位置づけ			
	【椿市地区】 地下水項目27項目 188,400円 飲料水項目11項目 6,500円 計194,900円 194,900円×3箇所=584,700円 採水経費 4,800円 589,500円×1.10=648,450円		【椿市・菟島地区】 地下水項目27項目×5箇所=942,000円 飲料水項目11項目×5箇所=32,500円 採取経費 8,000円 消費税 98,250円 合計 1,080,750円		【椿市・菟島地区】 地下水項目27項目×5箇所=942,000円 飲料水項目11項目×5箇所=32,500円 採取経費 8,000円 消費税 98,250円 合計 1,080,750円		(この欄には事業全体の内容を記載のこと)			
事業計画(事業費、単位:千円)										
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業費		
財源内訳	国	0		0		0		0		
	県	0		0		0		0		
	地方債	0		0		0		0		
	負担金	0		0		0		0		
	その他	0		0		0		0		
	一般財源	649		1,081		1,081		0		
	合計	649		1,081		1,081		0		
予算費目	会 計	会 計		費 目 名		費				
補助金	⇒	名称	対象事業費		0千円	補助率(%)	0.0%	補助予定額	0千円	
地方債	⇒	名称	対象事業費		0千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0千円	

事業番号	2242	事業名	火葬場施設設備工事				新規・既存の別	既存	
課名	環境課		係名	環境係	主管課長名	シート作成者名			
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成	年度	～	令和	年度
	施策項目	4. 景観・自然環境の保全			根拠法令等				
事業概要	火葬炉の延命化と安全で円滑な火葬業務を行うため定期的に実施する炉内の改修工事					事業の性質(複数選択可)			
						<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業		
						<input checked="" type="radio"/>	2 緊急性の高い事業		
							3 人口増加に寄与する事業		
達成のめやす	火葬炉の延命化と火葬業務の円滑化					<input checked="" type="radio"/>	4 住民サービス向上事業		
							5 防災関連事業		
留意事項							6 総合戦略対象事業		
							7 その他( )		
期待する効果	火葬炉の延命化と火葬業務の円滑化					優先順位マトリックス(ハード事業のみ)			
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		最終目標		
	火葬炉の延命化と火葬業務の円滑化		火葬炉の延命化と火葬業務の円滑化		火葬炉の延命化と火葬業務の円滑化				
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒								
年度の事業内訳	令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業の位置づけ		
	5号炉新設工事【44,820,000】 2・3号炉セラミック張替工事【2,200,000】 待合ホール備品購入(パーテーション他)【2,149,400】		1・4号炉セラミック張替工事【2,486,000】		2・3号炉セラミック張替工事【2,486,000】 外壁改修工事		(この欄には事業全体の内容を記載のこと)		
事業計画(事業費、単位:千円)									
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業費	
財源内訳	国	0		0		0		0	
	県	0		0		0		0	
	地方債	0		0		0		0	
	負担金	0		0		0		0	
	その他	0		0		0		0	
	一般財源	49,170		2,486		2,486		0	
	合計	49,170		2,486		2,486		0	
予算費目	会 計	会 計		費目名	費				
補助金	⇒	名称	対象事業費		0千円	補助率(%)	0.0%	補助予定額	0千円
地方債	⇒	名称	対象事業費		0千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0千円

事業番号	事業名					新規・既存の別	新規	
	道路改良工事(行事4丁目4号線)一般単独事業							
課名	土木課	係名	土木係	主管課長名	シート作成者名			
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)			
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			令和 3 年度	~	令和 3 年度	
	施策項目	5. 道路の整備			根拠法令等			
事業概要	行事4丁目4号線は、市営住宅跡地に隣接する道路で、幅員が4m未満であり離合も困難な状況であるため、道路構造上最低幅員である5mを確保し、周辺住民の交通環境を改善するものである。また、市営住宅跡地の約2,500㎡を有効利用するために周辺道路である本路線を整備するものである。 工事長L=245.6m W=5.0m					事業の性質(複数選択可)		
達成のめやす	令和3年度完了予定					<input type="checkbox"/>	1 継続性のある事業	
留意事項	市営住宅跡地の周辺道路には上下水が整備されており、土地利用者の給排水計画を考慮しながら、本路線の整備を行っていく必要がある。					<input checked="" type="checkbox"/>	2 緊急性の高い事業	
						<input type="checkbox"/>	3 人口増加に寄与する事業	
期待する効果	市営住宅跡地の有効利用だけでなく、周辺住民の交通環境の改善にも期待ができる。					<input checked="" type="checkbox"/>	4 住民サービス向上事業	
						<input type="checkbox"/>	5 防災関連事業	
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		最終目標	
			100%				100%	
右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒								
年度の事業内訳	令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業の位置づけ	
			改良工事:L=245.6m 排水工(道路側溝):L=406m 舗装工:A=817㎡				改良工事:L=245.6  (この欄には事業全体の内容を記載のこと)	
事業計画(事業費、単位:千円)								
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業費
財源内訳	国	0		0		0		0
	県	0		0		0		0
	地方債	0		0		0		0
	負担金	0		0		0		0
	その他	0		0		0		0
	一般財源	0		22,470		0		22,470
	合計	0		22,470		0		22,470
予算費目	会 計	一 般		会 計	費 目 名	土 木		費
補助金	なし	⇒	名称	対象事業費	千円	補助率(%)	補助予定額	千円
地方債	なし	⇒	名称	対象事業費	千円	充当率(%)	充当予定額	千円

事業番号	2370	事業名	社会資本整備総合交付金事業(広ワラ・上花松線)				新規・既存の別	既存		
課名	土木課		係名	土木係	主管課長名	シート作成者名				
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成 28 年度	~	令和 6 年度		
	施策項目	5. 道路の整備				根拠法令等				
事業概要	本路線は国道201号バイパスと県道 直方行橋線を結ぶ路線であり、交通量に対して幅員が狭く離合も困難であり、また通学路でもあるため、現道拡幅及び歩道設置を行うものである。(3種5級) 工事長L=430m W=6.25m					事業の性質(複数選択可)				
達成のめやす	令和6年度完了予定					<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業			
留意事項	前田・綿打線、宮市橋、交通安全プログラム、広ワラ・上花松線が社会資本整備総合交付金事業で同パッケージ事業である。交付金の内示率状況では前田・綿打線、宮市橋を優先して整備を行う。					<input type="radio"/>	2 緊急性の高い事業			
						<input type="radio"/>	3 人口増加に寄与する事業			
期待する効果	本路線の現道拡幅及び歩道設置することにより、学童の安全確保と地域住民の安心安全かつ快適な交通環境の確保が期待できる。					<input checked="" type="radio"/>	4 住民サービス向上事業			
						<input type="radio"/>	5 防災関連事業			
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		優先順位マトリックス(ハード事業のみ)			
	54%		66%		78%		3			
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒						最終目標			
年度の事業内訳	令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業の位置づけ			
	改良工事:L=60m		改良工事:L=90m		改良工事:L=65m 14,000千円 ゲート工:一式 7,000千円		測量設計:一式 用地買収:A=198㎡(7筆) 物件補償:N=2件 改良工事:L=430m (この欄には事業全体の内容を記載のこと)			
事業計画(事業費、単位:千円)										
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業費		
財源内訳	国	9,900		11,000		11,000		94,439		
	県	0		0		0		0		
	地方債	7,200		8,100		8,100		69,200		
	負担金	0		0		0		0		
	その他	0		0		0		0		
	一般財源	2,200		2,057		2,200		15,270		
	合計	19,300		21,157		21,300		178,909		
予算費目	会 計	一般		会 計	費目名	土木		費		
補助金	あり	⇒	名称	社会資本整備総合交付金事業	対象事業費	20,000 千円	補助率(%)	55.0%	補助予定額	11,000 千円
地方債	あり	⇒	名称	公共事業等債	対象事業費	9,000 千円	充当率(%)	90.0%	充当予定額	8,100 千円

事業番号	2370	事業名	社会資本整備総合交付金事業(塩焼・カシ上線)				新規・既存の別	既存		
課名	土木課		係名	土木係	主管課長名	シート作成者名				
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成 24 年度	～	令和 7 年度		
	施策項目	5. 道路の整備				根拠法令等				
事業概要	本路線は、県道 長尾稗田平島線と市街地を結ぶ路線であるが、狭隘路線であるため離合も困難にもかかわらず、通勤時間を中心に県道の迂回路として通行量が多く通行に支障をきたしているため現道拡幅するものである。(3種4級) 工事長L=850m W=7.0m					事業の性質(複数選択可)				
達成のめやす	令和7年度完了予定					<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業			
留意事項	社会資本整備交付金事業で文久・上新地線と同パッケージ事業のため、交付金の内示率状況では令和6年度までは文久上新地線を優先して整備を行う。					<input type="radio"/>	2 緊急性の高い事業			
						<input type="radio"/>	3 人口増加に寄与する事業			
期待する効果	現道拡幅により通行の円滑化及び歩行者の安全性の向上が期待できる。					<input checked="" type="radio"/>	4 住民サービス向上事業			
						<input type="radio"/>	5 防災関連事業			
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		優先順位マトリックス(ハード事業のみ)			
	58%		67%		75%		5			
年度の事業内訳	令和2年度		令和3年度		令和4年度		最終目標			
	ゲート工		改良工事:L=70m		改良工事:L=110m		100%			
事業計画(事業費、単位:千円)										
財源内訳	令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業費			
	国	500	5,000	9,500	116,352					
	県	0	0	0	0					
	地方債	400	4,500	8,500	96,100					
	負担金	0	0	0	0					
	その他	0	0	0	0					
	一般財源	800	1,107	2,200	24,384					
	合計	1,700	10,607	20,200	236,836					
予算費目	会 計	一 般		会 計	費 目 名	土 木				
補助金	あり	⇒	名称	社会資本整備総合交付金事業	対象事業費	10,000 千円	補助率(%)	50.0%	補助予定額	5,000 千円
地方債	あり	⇒	名称	公共事業等債	対象事業費	5,000 千円	充当率(%)	90.0%	充当予定額	4,500 千円

事業番号	事業名 都市機能誘導区域内道路構造物改修事業				新規・既存の別	新規				
課名	土木課		係名	公園・道路維持係	主管課長名	シート作成者名				
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)					
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			令和 3 年度	～	令和 7 年度			
	施策項目	5. 道路の整備			根拠法令等					
事業概要	本事業は、本市の中心である都市機能誘導区域内の道路構造物の適切な維持管理を行うものである。				事業の性質 (複数選択可)					
達成のめやす	区画線・道路照明の更新、側溝の清掃を5年間で行う。				<input checked="" type="radio"/> 1 継続性のある事業 <input checked="" type="radio"/> 2 緊急性の高い事業 <input checked="" type="radio"/> 3 人口増加に寄与する事業 <input checked="" type="radio"/> 4 住民サービス向上事業 <input type="radio"/> 5 防災関連事業 <input type="radio"/> 6 総合戦略対象事業 <input type="radio"/> 7 その他 ( )					
留意事項	特に行橋駅周辺は行橋市の顔であるため常に良い状態を維持する。									
期待する効果	道路構造物の適切な維持管理を行うことにより、都市機能誘導区域内により一層ひとが集まり、賑わうことが期待される。				優先順位マトリックス (ハード事業のみ)					
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	最終目標						
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒									
年度の事業内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業の位置づけ						
		区画線更新工事 L=14,050m 道路照明更新工事 N=22箇所 側溝清掃工事 L=2,540m	区画線更新工事 L=14,050m 10,600千円 道路照明更新工事 N=22箇所 9,400千円 側溝清掃工事 L=2,540m 8,000千円	区画線更新工事 L=70,250m 道路照明更新工事 N=110箇所 側溝清掃工事 L=12,700m (この欄には事業全体の内容を記載のこと)						
事業計画(事業費、単位:千円)										
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業費					
財源内訳	国	0	0	0	0					
	県	0	0	0	0					
	地方債	0	0	0	0					
	負担金	0	0	0	0					
	その他	0	0	0	0					
	一般財源	0	10,000	28,000	140,000					
	合計	0	10,000	28,000	140,000					
予算費目	会 計	一 般		会 計	費 目 名	土 木		費		
補助金	なし	⇒	名称	対象事業費	0 千円	補助率(%)	0.0%	補助予定額	0 千円	
地方債	なし	⇒	名称	対象事業費	0 千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0 千円	

事業番号	3596	事業名	市道整備計画策定事業				新規・既存の別	既存				
課名	土木課		係名		管理係		主管課長名		シート作成者名			
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)						
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成	2	年度	～	令和	4	年度
	施策項目	5. 道路の整備				根拠法令等						
事業概要	本市が管理する市道は2,236路線(1級:25路線、2級:38路線、その他:2,173路線)となっており、具体的な整備計画は策定されておらず、地域住民からの要望を受けての陳情事業が基礎となっている。今回市道路線の各種別の見直しを行い適正化を図った後、市道(1、2級)の整備計画を策定し、今後の維持管理の在り方やメンテナンスサイクル構築を検討し、総合計画のインフラ整備プロジェクトに基づく道路整備を実施するものである。						事業の性質(複数選択可)					
達成のめやす	令和4年度完了予定。						<input checked="" type="radio"/>	1	継続性のある事業			
留意事項	整備計画の対象は1、2級市道を対象としており、平成26年度に行った道路ストック総点検等既存の長寿命化計画と整合性を図るように留意する。						<input checked="" type="radio"/>	2	緊急性の高い事業			
							<input checked="" type="radio"/>	3	人口増加に寄与する事業			
期待する効果	整備計画を基に効率的・効果的な整備を計画的に実施することで、人・物の流動性の向上、暮らし・安全を支える道路網の安全性、信頼性を確保し、コストの平準化を図る。						<input checked="" type="radio"/>	4	住民サービス向上事業			
							<input checked="" type="radio"/>	5	防災関連事業			
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		最終目標					
	50%		50%		100%		100%					
右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒												
年度の事業内訳	令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業の位置づけ					
	市道路線見直し(各種別)適正化業務(基礎資料作成) 1級市道:25路線(36195.3m) 2級市道:38路線(45092.3m) その他:2,173路線(489,605m)				市道整備計画策定業務委託:一式		市道路線の見直しを行い、整備計画を策定する。  (この欄には事業全体の内容を記載のこと)					
事業計画(事業費、単位:千円)												
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業費				
財源内訳	国	0		0		7,500		0				
	県	0		0		0		0				
	地方債	0		0		0		0				
	負担金	0		0		0		0				
	その他	0		0		0		0				
	一般財源	1,600		0		7,500		0				
	合計	1,600		0		15,000		0				
予算費目	会 計	一 般		会 計	費 目 名	土 木		費				
補助金	あり	⇒	名称	社会資本整備総合交付金事業	対象事業費	0千円	補助率(%)	50.0%	補助予定額	0千円		
地方債	なし	⇒	名称		対象事業費	0千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0千円		



事業番号	3594	事業名	道路維持工事費				新規・既存の別	既存		
課名	土木課		係名	公園・道路維持係	主管課長名		シート作成者名			
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				令和 2 年度	~	令和 6 年度		
	施策項目	5. 道路の整備				根拠法令等	道路法			
事業概要	本事業は過去の要望案件を整備し安心・安全な街づくりを行うものである。 ①維持 N=31件 57,110,000円 ②下排水 N=30件 36,930,000円 ③交通安全 N=34件 8,880,000円					事業の性質(複数選択可)				
達成のめやす	平成29年度までの要望書の未完了の案件を5年間で改修を行う。					<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業			
留意事項	平成29年度以降分の案件が増える可能性がある。					<input type="radio"/>	2 緊急性の高い事業			
						<input checked="" type="radio"/>	3 人口増加に寄与する事業			
期待する効果	要望案件を整備することで安全性・快適性を確保する。					<input checked="" type="radio"/>	4 住民サービス向上事業			
						<input type="radio"/>	5 防災関連事業			
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		最終目標			
	進捗率4%		進捗率24%		進捗率44%		進捗率100%			
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒									
年度の事業内訳	令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業の位置づけ			
	要望案件 N=3件		要望案件 N=2件 ・矢留 50m*200,000円/m=10,000,000円 ・検地 50m*100,000円/m=5,000,000円		要望案件 N=19件		毎年、要望が増え未処理が増え続けている。  (この欄には事業全体の内容を記載のこと)			
事業計画(事業費、単位:千円)										
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業費		
財源内訳	国	0		0		0		0		
	県	0		0		0		0		
	地方債	0		0		0		0		
	負担金	0		0		0		0		
	その他	0		10,500		0		0		
	一般財源	4,000		4,500		20,000		103,000		
	合計	4,000		15,000		20,000		103,000		
予算費目	会 計	一 般		会 計	費 目 名	土 木		費		
補助金	なし	⇒	名称		対象事業費	0千円	補助率(%)	0.0%	補助予定額	0千円
地方債	なし	⇒	名称		対象事業費	0千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0千円

行橋市実施計画シート 令和2年度実施計画事業対象

事業番号	3513	事業名	道路舗装工事(駅西大通り線ほか2路線)公共施設等適正管理推進事業債				新規・既存の別	新規	
課名	土木課		係名	土木係	主管課長名	シート作成者名			
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)			
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成 30 年度	～	令和 26 年度	
	施策項目	5. 道路の整備				根拠法令等			
事業概要	舗装修繕:58路線、歩道修繕65箇所 ①駅西大通り線:行橋駅西口と安川通りを結び、多くの住民が通勤・通学を利用する重要な路線である。車両乗入部65箇所、A=1,839㎡ ②前田・綿打線:国道496号と県道長尾禰田平島線を結び、泉小学校の通学路である。工事長L=470m、A=2,715㎡ ③前門・東線:主要地方道門司行橋線と県道沓尾大橋線を結ぶ路線である。工事長L=70m、A=350㎡					事業の性質(複数選択可)			
達成のめやす	①路線の歩道修繕は令和4年度完了予定である。(令和2年度から3か年で実施)、②路線の舗装修繕は令和3年度完了予定である。 ③路線の舗装修繕は令和3年度完了予定である。					●	1 継続性のある事業		
留意事項	平成29年度までは、舗装修繕(アスファルト表層のみ打換等)を社会資本整備総合交付金事業の交付金を活用することができたが、平成30年度からは路床からの全面的な改良しか認められなくなった。また、社会資本でのこの事業の内示率が極端に悪く、交付金を活用することが難しい状況である。そのため、公共施設等適正管理推進事業債を活用し、舗装修繕事業を行いたい。					●	2 緊急性の高い事業		
							3 人口増加に寄与する事業		
期待する効果	平成26年度に行った道路ストック総点検により得られた評価をもとに効率的・効果的な舗装修繕を計画的に実施することで、コストの標準化を図り、道路網の安全性・信頼性を確保する。						4 住民サービス向上事業		
							5 防災関連事業		
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	最終目標					
	8%(舗装修繕3路線、歩道修繕10箇所)	12%(舗装修繕5路線、歩道修繕22箇所)	15%(舗装修繕5路線、歩道修繕65箇所)	100%(舗装修繕58路線、歩道修繕65箇所)					
年度の事業内訳	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒					優先順位マトリックス(ハード事業のみ)			
						<b>3</b>			
年度の事業内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業の位置づけ					
	舗装修繕①:L=474.3m、A=2,523㎡ 13,300千円 歩道修繕②:10箇所、A=695㎡ 12,200千円	歩道修繕①:12箇所、A=598㎡ 10,700千円 舗装修繕②:L=470m、A=2,715㎡ 14,100千円 舗装修繕③:L=70m、A=350㎡ 1,900千円	歩道修繕①:43箇所、A=546㎡ 9,700千円 舗装修繕②:L=500m、A=3,500㎡ (柳井田1号線) 16,800千円	道路舗装:L=82,000m、A=497,102㎡ 舗装修繕:58路線 歩道修繕:65箇所 (この欄には事業全体の内容を記載のこと)					
事業計画(事業費、単位:千円)									
財源内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業費					
	国	0	0	0	0				
	県	0	0	0	0				
	地方債	22,500	23,500	23,400	595,500				
	負担金	0	0	0	0				
	その他	0	0	0	0				
	一般財源	3,100	3,264	3,200	84,400				
	合計	25,600	26,764	26,600	679,900				
予算費目	会 計	一般	会 計	費目名	土木	費			
補助金	なし	⇒	名称	対象事業費	千円	補助率(%)	補助予定額	0千円	
地方債	あり	⇒	名称	公共施設等適正管理推進事業債	26,200千円	充当率(%)	90.0%	充当予定額	23,500千円

事業番号	2370	事業名	社会資本整備総合交付金事業(前田・綿打線)				新規・既存の別	既存		
課名	土木課		係名	土木係	主管課長名	シート作成者名				
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成 27 年度	~	令和 9 年度		
	施策項目	5. 道路の整備				根拠法令等				
事業概要	本路線は国道496号と県道 長尾稗田平島線を結ぶ路線であり、交通量に対して幅員が狭く離合も困難であり、また通学路でもあるため、現道拡幅することにより、1車線から2車線に整備し歩道を設置する。(4種2級) 工事長L=400m W=12.5m(車道W=7.0m、歩道W=3.5m、2.0m)					事業の性質(複数選択可)				
達成のめやす	交差点は令和5年度完了予定 全線は令和9年度完了予定					●	1 継続性のある事業			
留意事項	事故の多い交差点改良の早期完了を目指す。家屋補償が4件、工作物1件で事業費が大きい。また構外移転もあり時間も要することになる。そのため、社会資本全体の事業計画を把握し、地権者との交渉も積極的に行う。					●	2 緊急性の高い事業			
							3 人口増加に寄与する事業			
期待する効果	本路線は泉小学校に向かう通学路になっており、歩道が未設置であり車道部も幅員が狭く、歩行者の安全性が危惧されているため、道路拡幅工事を行うことにより、人口が増加する泉地区の交通需要に対応するとともに、安全な歩行空間の創出に寄与できる。						4 住民サービス向上事業			
							5 防災関連事業			
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		最終目標			
	29%		38%		50%		100%			
		右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒								
年度の事業内訳	令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業の位置づけ			
	信号機移設設計	2,300千円	用地買収:A=174㎡(2筆)	6,263千円	物件調査:N=2件	3,000千円	測量設計:一式			
物件調査:N=3件	2,700千円	物件補償:N=2件	44,000千円	橋梁設計:1橋	12,000千円	用地買収:A=2,500㎡(17筆)				
用地買収:A=144㎡(2筆)	6,860千円	改良工事:L=40m	15,587千円	用地買収:A=132㎡(2筆)	6,150千円	物件補償:N=14件				
物件補償:N=2件	69,070千円	歩道工事:L=70m	0千円	物件補償:N=2件	70,300千円	改良工事:L=400m				
改良工事:L=90m	28,000千円			改良工事:L=110m	43,500千円	(この欄には事業全体の内容を記載のこと)				
				歩道工事:L=36m	5,500千円					
事業計画(事業費、単位:千円)										
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業費		
財源内訳	国	59,911		36,217		75,872		116,352		
	県	0		0		0		0		
	地方債	44,100		26,600		55,800		96,100		
	負担金	0		0		0		0		
	その他	0		0		0		0		
	一般財源	6,919		5,763		9,078		24,384		
	合計	110,930		68,580		140,750		236,836		
予算費目	会 計	一 般		会 計	費 目 名	土 木		費		
補助金	あり	⇒	名称	社会資本整備総合交付金事業	対象事業費	65,850 千円	補助率(%)	55.0%	補助予定額	36,217 千円
地方債	あり	⇒	名称	公共事業等債	対象事業費	29,634 千円	充当率(%)	90.0%	充当予定額	26,600 千円

事業番号	2370	事業名	社会資本整備総合交付金事業(宮市橋)				新規・既存の別	既存		
課名	土木課		係名	土木係	主管課長名	シート作成者名				
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成 30 年度	~	令和 4 年度		
	施策項目	5. 道路の整備				根拠法令等				
事業概要	市道 西宮市1号線は、行橋市の玄関口である行橋駅のメインストリートであり、行橋市立行橋小学校の通学路に指定されているが、宮市橋のみ歩道が未設置であり、歩行者の安全性が危惧されている。そこで、宮市橋の拡幅を行うことにより、安全な歩行空間の創出と地域住民の安全安心かつ快適な交通環境の確保を図るものである。 工事長L=32.6m W=3.5m(歩道橋設置)					事業の性質 (複数選択可)				
達成のめやす	令和4年度完了予定(歩道橋は令和3年度完了予定)					●	1 継続性のある事業			
留意事項	令和3年度が歩道橋の上部工で最も事業費が大きいが、単年度で事業を行う必要がある。					●	2 緊急性の高い事業			
						●	3 人口増加に寄与する事業			
期待する効果	通学路の交通安全を確保するために、道路管理者、教育委員会と警察等関係機関で合同点検を行い、安全性の確保が求められる箇所に対して整備を行い、学童の安全確保が期待できる。					●	4 住民サービス向上事業			
							5 防災関連事業			
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		優先順位マトリックス(ハード事業のみ)			
	55%		95%		100%		3			
年度の事業内訳	令和2年度		令和3年度		令和4年度		最終目標			
	歩道橋下部工(左岸側):一式		歩道橋上部工:L=32.6m		歩道橋取付付帯工:一式		100%			
事業計画(事業費、単位:千円)										
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業費		
財源内訳	国	24,255		35,750		3,850		87,505		
	県	0		0		0		0		
	地方債	17,800		26,300		2,800		64,200		
	負担金	0		0		0		0		
	その他	0		0		0		0		
	一般財源	4,345		5,338		1,450		14,644		
	合計	46,400		67,388		8,100		166,349		
予算費目	会 計	一 般		会 計	費 目 名		土 木			
補助金	あり	⇒	名称	社会資本整備総合交付金事業	対象事業費	65,000 千円	補助率(%)	55.0%	補助予定額	35,750 千円
地方債	あり	⇒	名称	公共事業等債	対象事業費	29,250 千円	充当率(%)	90.0%	充当予定額	26,300 千円

事業番号	2370	事業名	社会資本整備総合交付金事業(文久・上新地線)				新規・既存の別	既存		
課名	土木課		係名	土木係	主管課長名	シート作成者名				
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成 21 年度	~	令和 9 年度		
	施策項目	5. 道路の整備				根拠法令等				
事業概要	県道 門司・行橋線関連道路新設改良工事(3種2級) 工事長L=1,120m W=11.0m(車道W=8.5m、歩道W=2.5m)					事業の性質(複数選択可)				
達成のめやす	江尻川大橋から主要地方道門司行橋線へのバイパス路線を整備するもので、令和6年度までに現道の市道へと繋がる箇所を整備していく。全線完了は令和9年度予定。					<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業			
留意事項	県整備区間(L=840m)が令和6年度に完成予定であるため、市整備分については、現道の市道に取付け、暫定的に開通できるようにする。					<input type="radio"/>	2 緊急性の高い事業			
						<input type="radio"/>	3 人口増加に寄与する事業			
期待する効果	本路線は、北九州空港周辺の工業地帯と市内の相重工業団地を結ぶ路線であり、当該箇所を拡幅することにより、大型車の通行が容易になり工業団地の部品メーカーから工業地帯への物流の強化、円滑化が図られ「北部九州自動車150万台生産拠点」の推進に寄与する。					<input checked="" type="radio"/>	4 住民サービス向上事業			
						<input type="radio"/>	5 防災関連事業			
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	優先順位マトリックス(ハード事業のみ)						
	34%	40%	44%	5						
年度の事業内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	最終目標						
	改良工事:L=114m	用地買収:A=940㎡(1筆) 0千円 改良工事:L=140m 60,660千円	改良工事:L=44m 18,500千円 舗装工事:L=4,342㎡ 23,500千円	100%						
事業計画(事業費、単位:千円)										
財源内訳	令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業費			
	国	17,750	30,330	20,000	449,471					
	県	0	0	0	0					
	地方債	15,900	27,200	18,000	382,100					
	負担金	0	0	0	0					
	その他	0	0	0	0					
	一般財源	4,750	5,546	4,500	76,479					
	合計	38,400	63,076	42,500	908,050					
予算費目	会 計	一般	会 計	費目名	土木	費				
補助金	あり	⇒	名称	社会資本整備総合交付金事業	対象事業費	60,660 千円	補助率(%)	50.0%	補助予定額	30,330 千円
地方債	あり	⇒	名称	公共事業等債	対象事業費	30,330 千円	充当率(%)	90.0%	充当予定額	27,200 千円

事業番号	2370	事業名	社会資本整備総合交付金事業(交通安全プログラム)				新規・既存の別	既存		
課名	土木課		係名	土木係	主管課長名	シート作成者名				
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成 28 年度	~	令和 4 年度		
	施策項目	5. 道路の整備				根拠法令等				
事業概要	通学路の交通安全を確保するための事業である。 (大町・清水線)ボックスカルバート工:L=83.4m (菟干・川原線)区画線:L=2,360m、交差点カー舗装:一式、歩道部カー舗装:L=645m					事業の性質(複数選択可)				
達成のめやす	令和4年度完了予定					<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業			
留意事項	毎年実施される合同点検で、緊急を要するものがあれば対応していく必要がある。また、点検で追加される可能性もあり、その場合は事業の終了年度が変更される。					<input checked="" type="radio"/>	2 緊急性の高い事業			
							3 人口増加に寄与する事業			
期待する効果	通学路の交通安全を確保するために、道路管理者、教育委員会と警察等関係機関で合同点検を行い、安全性の確保が求められる箇所に対して整備を行い、学童の安全確保が期待できる。						4 住民サービス向上事業			
							5 防災関連事業			
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		優先順位マトリックス(ハード事業のみ)			
	73%		84%		92%		5			
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒						最終目標			
年度の事業内訳	令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業の位置づけ			
	(新地)路肩整備:L=88m (道場寺)防護柵設置:L=200m (上津熊)歩道溜設置:一式		(大町・清水線) ボックスカルバート工:L=24m、信号機移設 (菟干・川原線) 歩道部カー舗装:L=190m		(菟干・川原線) 歩道部カー舗装:L=455m		測量設計:一式、用地買収:A=50m(2筆) 横断防止柵設置:L=550m、歩道床版設置工: L=160m、歩道設置工事:L=70m、舗装工: L=630m、ゲート工:1式、ボックスカルバート工: L=83.4m、カー舗装:L=945m (この欄には事業全体の内容を記載のこと)			
事業計画(事業費、単位:千円)										
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業費		
財源内訳	国	7,739		8,525		5,500		71,814		
	県	0		0		0		0		
	地方債	5,600		6,200		4,000		52,400		
	負担金	0		0		0		0		
	その他	0		0		0		0		
	一般財源	1,433		1,377		1,200		12,757		
	合計	14,772		16,102		10,700		136,971		
予算費目	会 計	一般		会 計	費目名	土木		費		
補助金	あり	⇒	名称	社会資本整備総合交付金事業	対象事業費	15,500 千円	補助率(%)	55.0%	補助予定額	8,525 千円
地方債	あり	⇒	名称	公共事業等債	対象事業費	6,975 千円	充当率(%)	90.0%	充当予定額	6,200 千円

事業番号	2371	事業名	道路メンテナンス事業(橋梁点検)			新規・既存の別	既存			
課名	土木課		係名	土木係	主管課長名	シート作成者名				
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)					
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成 30 年度	~	令和 4 年度			
	施策項目	5. 道路の整備			根拠法令等	道路法施行規則第四条の五の六				
事業概要	管理橋梁数:341橋 本市が管理する道路橋は、現在341橋あり、その中で橋長や重要度に応じて、職員による直営点検と外部発注に分けて計画的に点検するものである。				事業の性質(複数選択可)					
達成のめやす	5年に1回の定期点検が義務付けられており、令和5年度に2巡目の点検が完了予定				●	1 継続性のある事業				
留意事項	1巡目点検時は重要度に応じて108橋についてはコンサル点検を行っていたところであるが、特に重要な橋長15m以上の橋梁以外の70橋については「福岡県建設技術センター」で点検代行業務をすることが可能で、大幅なコスト削減ができる。				●	2 緊急性の高い事業				
					●	3 人口増加に寄与する事業				
期待する効果	今後増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに要する経費のコスト縮減、橋梁の長寿命化を図り、道路網の安全性・信頼性を確保する。				●	4 住民サービス向上事業				
					●	5 防災関連事業				
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	最終目標						
	127橋	275橋	340橋	5年に1回の定期点検						
右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒										
年度の事業内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業の位置づけ						
	業務発注(コンサル):37橋 (職員の直営点検:51橋) (※R1点検:39橋)	点検代行(センター):70橋 2,150千円 共同管理橋:7橋 2,550千円 (職員の直営点検:71橋)	(職員の直営点検:65橋)	管理橋梁数 :341橋のうち 職員の直営点検 :226橋 点検代行(センター):70橋 業務発注(コンサル):38橋 共同管理橋 :7橋 (この欄には事業全体の内容を記載のこと)						
事業計画(事業費、単位:千円)										
財源内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業費						
	国	10,450	2,530	0	14,685					
	県	0	0	0	0					
	地方債	0	0	0	0					
	負担金	0	0	0	0					
	その他	0	0	0	0					
	一般財源	8,850	2,170	0	12,015					
	合計	19,300	4,700	0	26,700					
予算費目	会 計	一般	会 計	費目名	土木	費				
補助金	あり	⇒	名称	道路メンテナンス事業費	対象事業費	4,600 千円	補助率(%)	55.0%	補助予定額	2,530 千円
地方債	なし	⇒	名称		対象事業費	千円	充当率(%)		充当予定額	千円

事業番号	2371	事業名	道路メンテナンス事業(橋梁修繕)				新規・既存の別	既存				
課名	土木課		係名	土木係		主管課長名	シート作成者名					
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)						
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成	27	年度	~	令和	10	年度
	施策項目	5. 道路の整備				根拠法令等						
事業概要	対象橋梁数:134橋(判定Ⅱ115橋、判定Ⅲ19橋) ※管理橋梁数:341橋 本市が管理する道路橋は、現在341橋で判定Ⅰ207橋、判定Ⅱ115橋、判定Ⅲ19橋、判定Ⅳ0橋となり、修繕が必要な判定Ⅱ以上の橋梁は134橋である。行橋市の高齢化橋梁(建設後50年を経過した橋梁)は7%であるが、20年後には53%と飛躍的に増大し、急速に橋梁の高齢化が進行する。そのため、将来的に架設時期が重なりコストの増大に対応するため、長寿命化修繕計画を策定することにより、予防的な修繕を行い橋梁の長寿命化並びにコストの平準化を図ることを目的として維持管理を行っていくものである。					事業の性質(複数選択可)						
達成のめやす	令和4年度までに緊急性の高い橋梁(点検判定区分Ⅲ)を中心に橋梁修繕を行っていく。					<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業					
留意事項	特に重要な橋梁15m以上の橋梁では、補修費用も大きいものとなる。橋梁の損傷原因の多くは、漏水によるものが多いと考えられ、判定Ⅱのものについては上部工の防水工のみを中心とした補修を行い、定期点検で様子を見て判断していき、橋梁長寿命化の橋梁数を多く行うことを検討していく。					<input checked="" type="radio"/>	2 緊急性の高い事業					
						<input checked="" type="radio"/>	3 人口増加に寄与する事業					
期待する効果	今後増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに要する経費のコスト縮減、橋梁の長寿命化を図り、道路網の安全性・信頼性を確保する。					<input checked="" type="radio"/>	4 住民サービス向上事業					
						<input checked="" type="radio"/>	5 防災関連事業					
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		最終目標					
	23橋		26橋		28橋		134橋(補修工事)					
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒											
年度の事業内訳	令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業の位置づけ					
	橋梁補修設計:2橋 橋梁補修工事:5橋	3,900千円 26,000千円	橋梁補修設計:2橋 橋梁補修工事:2橋 橋梁補修工事:1橋(枠内対応)	10,400千円 27,500千円	橋梁補修設計:3橋 橋梁補修工事:2橋	15,500千円 25,500千円	橋梁補修設計:134橋 橋梁補修工事:134橋  (この欄には事業全体の内容を記載のこと)					
事業計画(事業費、単位:千円)												
財源内訳	令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業費					
	国	15,400	20,350	22,000	1,209,098							
	県	0	0	0	0							
	地方債	11,300	14,900	16,200	874,500							
	負担金	0	0	0	0							
	その他	0	0	0	0							
	一般財源	3,200	2,950	3,100	139,722							
	合計	29,900	38,200	41,300	2,223,320							
予算費目	会計	一般		会計	費目名	土木		費				
補助金	あり	⇒	名称	道路メンテナンス事業費	対象事業費	37,000 千円	補助率(%)	55.0%	補助予定額	20,350 千円		
地方債	なし	⇒	名称	公共事業等債	対象事業費	16,650 千円	充当率(%)	90.0%	充当予定額	14,900 千円		



事業番号	2374	事業名	再編交付金事業(石佛・一丁田原線)				新規・既存の別	既存		
課名	土木課		係名	土木係	主管課長名	シート作成者名				
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				令和 3 年度	～	令和 5 年度		
	施策項目	5. 道路の整備				根拠法令等				
事業概要	道路改良工事 L=437m 道路改良区間 L=187m W=7.5m(車道5.0m、歩道2.5m) 排水路改良区間 L=250m					事業の性質(複数選択可)				
達成のめやす	令和5年度完了予定					<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業			
留意事項	大雨時には道路冠水が起こっている箇所があるため、排水路改良も行う必要がある。					<input type="radio"/>	2 緊急性の高い事業			
						<input type="radio"/>	3 人口増加に寄与する事業			
期待する効果	本路線は仲津小中学校の通学路に指定されているが、道幅が狭いため児童が危険な状況である。また、車の離合が困難な箇所もあるため、部分的に道路拡幅と歩道を設置することで周辺住民の安全が確保される。					<input checked="" type="radio"/>	4 住民サービス向上事業			
						<input checked="" type="radio"/>	5 防災関連事業			
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	優先順位マトリックス(ハード事業のみ)						
	17%	51%	70%	5						
年度の事業内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	最終目標						
	用地買収:A=816㎡	道路改良工事:L=100m 38,600千円	道路改良工事:L=87m	100%						
事業計画(事業費、単位:千円)										
財源内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業の位置づけ						
	国	7,000	32,612	20,800	測量設計:L=437m 用地買収:A=816㎡ 道路改良工事:L=187m 排水路改良工事:L=250m (この欄には事業全体の内容を記載のこと)					
	県	0	0	0						
	地方債	0	0	0						
	負担金	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	2,800	5,988	700						
	合計	9,800	38,600	21,500	112,610					
予算費目	会 計	一 般	会 計	費 目 名	土 木	費				
補助金	あり	⇒	名称	再編交付金	対象事業費	32,612 千円	補助率(%)	100.0%	補助予定額	32,612 千円
地方債	なし	⇒	名称		対象事業費	0 千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0 千円

事業番号	2374	事業名	再編交付金事業(樋満・キド線)				新規・既存の別	新規		
課名	土木課		係名	土木係	主管課長名		シート作成者名			
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				令和 3 年度	~	令和 6 年度		
	施策項目	5. 道路の整備				根拠法令等				
事業概要	道路改良工事 L=95m (現況幅員W=2m程度 → W=4m)					事業の性質(複数選択可)				
						<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業			
						<input checked="" type="radio"/>	2 緊急性の高い事業			
						<input type="radio"/>	3 人口増加に寄与する事業			
						<input checked="" type="radio"/>	4 住民サービス向上事業			
						<input type="radio"/>	5 防災関連事業			
						<input type="radio"/>	6 総合戦略対象事業			
						<input type="radio"/>	7 その他( )			
達成のめやす	令和6年度完了予定					優先順位マトリックス(ハード事業のみ)				
						<b>5</b>				
留意事項	主要地方道門司行橋線とキド・長野間線(W=6m程度)を結ぶ道路であり、平成26年度より整備を進めており、本要望箇所の整備で完了となるため、地元要望が強いものである。									
期待する効果	稲童下地区の集落では緊急車両が通れない道路がほとんどであり、本路線は集落の中心に位置する道路であるため、緊急車両が本路線を利用し、周辺住民の生活環境の改善が期待される。					最終目標				
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	最終目標						
		8%	18%	100%						
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒									
年度の事業内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業の位置づけ						
		測量設計:L=95m	物件調査:N=6件	測量設計:L=95m 物件調査:N=6件 用地買収:A=260㎡、物件補償:N=6件 道路改良工事:L=95m (この欄には事業全体の内容を記載のこと)						
事業計画(事業費、単位:千円)										
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業費					
財源内訳	国	0	3,750	4,500	42,250					
	県	0	0	0	0					
	地方債	0	0	0	0					
	負担金	0	0	0	0					
	その他	0	0	0	0					
	一般財源	0	550	100	3,550					
	合計	0	4,300	4,600	45,800					
予算費目	会 計	一 般		会 計	費 目 名	土 木	費			
補助金	あり	⇒	名称	再編交付金	対象事業費	3,750 千円	補助率(%)	100.0%	補助予定額	3,750 千円
地方債	なし	⇒	名称		対象事業費	0 千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0 千円

事業番号	2374	事業名	再編交付金事業(並松・石橋線排水路)				新規・既存の別	新規		
課名	土木課		係名	土木係	主管課長名	シート作成者名				
総合計画	基本目標	ひとをつなぐまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策5 地域コミュニティプロジェクト				令和 3 年度	～	令和 8 年度		
	施策項目	3. 防災対策の充実				根拠法令等				
事業概要	排水路改良工事 L=640m (国道横断部推進工事、JR横断部推進工事、排水路改良工事)					事業の性質(複数選択可)				
達成のめやす	令和8年度完了予定(国道横断部推進工事R4完了、JR横断部推進工事R7完了、排水路改良工事R8完了)					<input checked="" type="radio"/>	4	住民サービス向上事業		
留意事項	並松・石橋線の排水は、全体的に能力不足のため、道場寺本区中心に冠水被害が生じている。特に最下流の国道横断部では排水管φ600の断面が必要なところ、既存ではφ350であり、その上流域すべてに影響を及ぼしている。そこで、国道横断部の測量設計及びそれに伴う地質調査を行い、早期の改善をしたい。					<input checked="" type="radio"/>	5	防災関連事業		
						<input type="radio"/>	6	総合戦略対象事業		
期待する効果	排水路を整備することにより冠水対策となり、周辺住民の生活環境の改善が期待される。					優先順位マトリックス(ハード事業のみ)				
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	最終目標						
		5%	27%	100%						
年度の事業内訳	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒					全体事業の位置づけ				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	測量設計(国道横断部)、地質調査 測量設計(JR横断部) 国道横断部推進工事、JR横断部推進工事 排水路改良工事:L=600m (この欄には事業全体の内容を記載のこと)						
事業計画(事業費、単位:千円)										
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業費					
財源内訳	国	0	5,300	26,600	116,700					
	県	0	0	0	0					
	地方債	0	0	0	0					
	負担金	0	0	0	0					
	その他	0	0	0	0					
	一般財源	0	600	1,200	7,600					
	合計	0	5,900	27,800	124,300					
予算費目	会計	一般		会計	費目名	土木		費		
補助金	あり	⇒	名称	再編交付金	対象事業費	5,300千円	補助率(%)	100.0%	補助予定額	5,300千円
地方債	なし	⇒	名称		対象事業費	0千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0千円

事業番号	2374	事業名	再編交付金事業(道場寺・東徳永線排水路)				新規・既存の別	新規		
課名	土木課		係名	土木係	主管課長名	シート作成者名				
総合計画	基本目標	ひとをつなぐまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策5 地域コミュニティプロジェクト				令和 3 年度	~	令和 3 年度		
	施策項目	3. 防災対策の充実				根拠法令等				
事業概要	排水路改良工事 L=150m 自由勾配側溝(300×300~400) L=150m 表層工 A=345㎡					事業の性質(複数選択可)				
						<input type="checkbox"/>	1 継続性のある事業			
						<input checked="" type="checkbox"/>	2 緊急性の高い事業			
						<input type="checkbox"/>	3 人口増加に寄与する事業			
達成のめやす	令和3年度完了予定					<input checked="" type="checkbox"/>	4 住民サービス向上事業			
						<input checked="" type="checkbox"/>	5 防災関連事業			
						<input type="checkbox"/>	6 総合戦略対象事業			
留意事項	道場寺・東徳永線の一部では、道路側溝が整備されておらず、降雨時には道路排水が周辺の宅内に入っている状況である。そのため、排水対策として早急の実施を行う必要がある。					<input type="checkbox"/>	7 その他( )			
期待する効果	排水路を整備することにより冠水対策となり、周辺住民の生活環境の改善が期待される。					優先順位マトリックス(ハード事業のみ)				
						5				
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	最終目標						
		100%		100%						
		右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒								
年度の事業内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業の位置づけ						
		排水路改良工事:L=150m		排水路改良工事:L=150m  (この欄には事業全体の内容を記載のこと)						
事業計画(事業費、単位:千円)										
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業費					
財源内訳	国	0	5,270	0	0					
	県	0	0	0	0					
	地方債	0	0	0	0					
	負担金	0	0	0	0					
	その他	0	0	0	0					
	一般財源	0	200	0	0					
	合計	0	5,470	0	0					
予算費目	会計	一般		会計	費目名	土木	費			
補助金	あり	⇒	名称	再編交付金	対象事業費	5,270 千円	補助率(%)	100.0%	補助予定額	5,270 千円
地方債	なし	⇒	名称		対象事業費	0 千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0 千円

事業番号	2374	事業名	再編交付金事業(三田・石堂線排水路)				新規・既存の別	新規		
課名	土木課		係名	土木係	主管課長名	シート作成者名				
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				令和 3 年度	~	令和 3 年度		
	施策項目	5. 道路の整備				根拠法令等				
事業概要	排水路改良工事 L=82m 自由勾配側溝(300×300~700) L=82m 表層工 A=400㎡					事業の性質(複数選択可)				
						<input type="checkbox"/>	1 継続性のある事業			
					<input checked="" type="checkbox"/>	2 緊急性の高い事業				
					<input type="checkbox"/>	3 人口増加に寄与する事業				
					<input checked="" type="checkbox"/>	4 住民サービス向上事業				
					<input type="checkbox"/>	5 防災関連事業				
					<input type="checkbox"/>	6 総合戦略対象事業				
					<input type="checkbox"/>	7 その他( )				
達成のめやす	令和3年度完了予定					優先順位マトリックス(ハード事業のみ)				
留意事項	三田・石堂線の一部では、道路側溝が整備されているが、排水勾配がとれていないため、雑排水が滞水しており、環境衛生が良くない状況である。R3要望箇所以外の団地内の排水は自由勾配側溝を整備済みであり、要望箇所のみが整備されておらず、改善の地元要望も強いので、排水対策として早急の実施を行う必要がある。					5				
						最終目標				
期待する効果	排水路を整備することにより、周辺住民の生活環境の改善が期待される。					100%				
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒						
		100%								
年度の事業内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業の位置づけ						
		排水路改良工事:L=82m		排水路改良工事:L=82m  (この欄には事業全体の内容を記載のこと)						
事業計画(事業費、単位:千円)										
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業費					
財源内訳	国	0	5,000	0	0					
	県	0	0	0	0					
	地方債	0	0	0	0					
	負担金	0	0	0	0					
	その他	0	0	0	0					
	一般財源	0	300	0	0					
	合計	0	5,300	0	0					
予算費目	会計	一般		会計	費目名	土木	費			
補助金	あり	⇒	名称	再編交付金	対象事業費	5,000 千円	補助率(%)	100.0%	補助予定額	5,000 千円
地方債	なし	⇒	名称		対象事業費	0 千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0 千円

事業番号	3595	事業名	街路樹維持管理事業				新規・既存の別	既存		
課名	土木課		係名	公園・道路維持係	主管課長名		シート作成者名			
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)					
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			令和	2	年度	～	令和	年度
	施策項目	5. 道路の整備			根拠法令等					
事業概要	本事業は、本市の中心である都市機能誘導区域内の1,000本の街路樹において毎年剪定や防除また枯損木の植え替えを行い適切に維持管理を行うものです。					事業の性質(複数選択可)				
達成のめやす	害虫等の苦情が無いように適切に管理を行う。					<input checked="" type="radio"/>	1	継続性のある事業		
留意事項	最終的には、台帳を作成し維持管理をしていきたい。					<input checked="" type="radio"/>	2	緊急性の高い事業		
						<input checked="" type="radio"/>	3	人口増加に寄与する事業		
期待する効果	街路樹を維持管理することで歩道の安全性・快適性を確保する。					<input checked="" type="radio"/>	4	住民サービス向上事業		
						<input type="radio"/>	5	防災関連事業		
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		最終目標			
	苦情件数 0件		苦情件数 0件		苦情件数 0件		苦情件数 0件			
右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒										
年度の事業内訳	令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業の位置づけ			
	枯損木の植樹 N=25本 24本*80,000円=1,920,000円(ハナミズキ) 1本*3,000,000円=3,000,000円(楠木) 樹木の維持管理 N=1,000本 1,000本*10,000円=10,000,000円(剪定、防除)		樹木の維持管理 N=1,000本 600本*10,000円=6,000,000円 (剪定、防除)		樹木の維持管理 N=1,000本 1,000本*10,000円=10,000,000円 (剪定、防除) 枯損木の植樹 N=10本 10本*100,000円=1,000,000円(ケヤキ)		樹木の維持管理 N=1,000本  (この欄には事業全体の内容を記載のこと)			
事業計画(事業費、単位:千円)										
財源内訳	令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業費			
	国	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	4,200	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	14,920	1,800	11,000	0	0	0	0	0	0
	合計	14,920	6,000	11,000	0	0	0	0	0	0
予算費目	会 計	一 般		会 計	費 目 名	土 木		費		
補助金	なし	⇒	名称	対象事業費	0千円	補助率(%)	0.0%	補助予定額	0千円	
地方債	なし	⇒	名称	対象事業費	0千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0千円	

事業番号	3581	事業名	行橋市都市計画道路見直し事業				新規・既存の別	既存				
課名	都市政策課		係名	都市政策係		主管課長名	シート作成者名					
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)						
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				令和	2	年度	～	令和	4	年度
	施策項目	5. 道路の整備				根拠法令等	都市計画法					
事業概要	将来の少子高齢化社会に対応した財政面・経済面で持続可能な都市経営が課題となっており、現在、公共施設総合管理計画、立地適正化計画を策定された。これらの計画と整合をとるため、集約型都市という新しい都市像に合った都市計画道路網の整備・見直しが必要であり、また、長期間未着手の都市計画道路については適正な土地利用の推進の観点からも見直しが急務となっている。 よって、都市計画道路網全体を見直し、存続・変更・廃止の路線検討や存続路線の整備順位付けを行う。					事業の性質 (複数選択可)						
達成のめやす	令和4年度で事業を完了する。					<input type="checkbox"/> 1 継続性のある事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 緊急性の高い事業 <input type="checkbox"/> 3 人口増加に寄与する事業 <input type="checkbox"/> 4 住民サービス向上事業 <input type="checkbox"/> 5 防災関連事業 <input type="checkbox"/> 6 総合戦略対象事業 <input type="checkbox"/> 7 その他 ( )						
留意事項	関係部署と調整が必要。用途地域変更の可能性有り。											
期待する効果	将来の集約型都市に適合した交通体系を確立し。持続可能な都市経営の実現を図る。					優先順位マトリックス (ハード事業のみ)						
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	最終目標								
	進捗率30%	進捗率65%	進捗率100%	進捗率100%								
右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒												
年度の事業内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業の位置づけ								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画道路の整備状況の把握</li> <li>検討対象路線(区間)の整理</li> <li>検討対象路線(区間)の必要性と評価</li> <li>将来道路網の方向性の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来交通量推計調査</li> <li>変更・廃止に向けた具体的な検討</li> <li>検討委員会(2回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備プログラム作成</li> <li>費用便益分析</li> <li>都市計画変更図書作成</li> <li>検討委員会(2回)</li> <li>都市計画審議会</li> </ul>	都市計画道路の見直し  (この欄には事業全体の内容を記載のこと)								
事業計画(事業費、単位:千円)												
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業費							
財源内訳	国	0	0	0	0							
	県	0	0	0	0							
	地方債	0	0	0	0							
	負担金	0	0	0	0							
	その他	0	0	0	0							
	一般財源	2,884	10,506	17,107	30,497							
	合計	2,884	10,506	17,107	30,497							
予算費目	会計	一般		会計	費目名	土木		費				
補助金	⇒	名称		対象事業費	0千円	補助率(%)	0.0%	補助予定額	0千円			
地方債	⇒	名称		対象事業費	0千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0千円			

事業番号	事業名 行橋市都市計画基礎調査事業					新規・既存の別	新規			
課名	都市政策課		係名	都市政策係	主管課長名	シート作成者名				
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)					
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成 3 年度	～	令和 3 年度			
	施策項目	1. 適正な土地利用の推進			根拠法令等	都市計画法				
事業概要	都市計画基礎調査は、都市計画法第6条に規定され、概ね5年ごとに人口規模、産業分類別の就業人口の規模、市街地の面積、土地利用、交通量等の現況及び将来の見通しについて調査を行うものである。					事業の性質(複数選択可)				
達成のめやす	令和3年度に基礎調査を終える。					<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業			
留意事項	前回基礎調査は平成27年度に行われており、令和4年度で7年経過することになる。 前回航空写真撮影は、KRIPP(北九州地区電子自治体推進協議会)で行われたが、今回は実施無し。					<input checked="" type="radio"/>	2 緊急性の高い事業			
						<input type="radio"/>	3 人口増加に寄与する事業			
期待する効果	基礎調査資料は、都市計画業務の基礎資料として、あらゆる分野で利用されており、業務の適切な遂行及び市民サービスの向上が期待できる。					<input checked="" type="radio"/>	4 住民サービス向上事業			
						<input type="radio"/>	5 防災関連事業			
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	最終目標						
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒									
年度の事業内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業の位置づけ						
		・都市計画基礎調査		(この欄には事業全体の内容を記載のこと)						
事業計画(事業費、単位:千円)										
事業計画(事業費、単位:千円)										
財源内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業費						
	国	0	0	0	0					
	県	0	993	0	993					
	地方債	0	0	0	0					
	負担金	0	0	0	0					
	その他	0	0	0	0					
	一般財源	0	10,572	0	10,572					
	合計	0	11,565	0	11,565					
予算費目	会計	一般	会計	費目名	土木	費				
補助金	あり	⇒	名称	都市計画基礎調査委託料	対象事業費	11,462 千円	補助率(%)	8.7%	補助予定額	993 千円
地方債		⇒	名称		対象事業費	0 千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0 千円



事業番号	事業名 行橋市地域公共交通計画策定事業					新規・既存の別	新規			
課名	都市政策課		係名	市街地整備係	主管課長名	シート作成者名				
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)					
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			令和 3 年度 ~ 令和 3 年度					
	施策項目	6. 公共交通の充実			根拠法令等	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律				
事業概要	持続可能な運送サービスの提供の確保に資する取組を推進するための地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、H28.3に策定した「行橋市地域公共交通網形成計画」の改訂時期であり、また同法が、一部改正したことを受け、新たな計画として「行橋市地域公共交通計画」を策定するものである。					事業の性質 (複数選択可)				
達成のめやす	「行橋市地域公共交通計画」の策定					<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業			
留意事項	国土交通省 地域公共交通調査事業(補助率1/2、上限500万円)を活用予定であるが、法定協議会が補助対象者となる。					<input type="radio"/>	2 緊急性の高い事業			
						<input type="radio"/>	3 人口増加に寄与する事業			
期待する効果	本計画を定め、これに基づいた事業を行っていくことにより、効率的で持続可能な公共交通を実現する。					<input checked="" type="radio"/>	4 住民サービス向上事業			
						<input type="radio"/>	5 防災関連事業			
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		最終目標			
	0%		100%				進捗率100%			
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒									
年度の事業内訳	令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業の位置づけ			
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査</li> <li>・乗込調査</li> <li>・交通事業者ヒアリング</li> <li>・課題整理</li> <li>・計画策定</li> <li>・印刷製本</li> </ul>				(この欄には事業全体の内容を記載のこと)			
事業計画(事業費、単位:千円)										
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業費		
財源内訳	国	0	4,999	0	4,999	0	4,999			
	県	0	0	0	0	0	0			
	地方債	0	0	0	0	0	0			
	負担金	0	0	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	0	6,469	0	6,469	0	6,469			
	合計	0	11,468	0	11,468	0	11,468			
予算費目	会 計	一般会計		会 計	費目名	総務費	費			
補助金	あり	⇒	名称	地域公共交通確保維持改善事業費補助金	対象事業費	9,999 千円	補助率(%)	50.0%	補助予定額	4,999 千円
地方債		⇒	名称		対象事業費	0 千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0 千円

事業番号	3069	事業名	道路整備事業(県営事業:行橋停車場)			新規・既存の別	既存				
課名	都市政策課		係名	市街地整備係	主管課長名	シート作成者名					
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)						
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成	27	年度	~	令和	6	年度
	施策項目	5. 道路の整備			根拠法令等						
事業概要	都市計画道路事業は、これまで、東九州自動車道(国事業)、国道201号バイパス(国事業)、行事西泉線(県事業)、行橋駅西口地区土地区画整理事業地内道路、東大橋西宮市線、駅東通り線を実施してきており、引き続き街路整備プログラムによる事業推進の観点から、都市計画道路、行橋停車場線について街路事業(県事業)による整備を実施するものである。					事業の性質(複数選択可)					
達成のめやす	対象区間約550mの拡幅工事完了					<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業				
留意事項	周辺用地取得が事業遂行に影響する。令和元年度に福岡県における無電柱化(地中化)対象路線となり、現在事業認可の変更手続き中。					<input type="radio"/>	2 緊急性の高い事業				
						<input type="radio"/>	3 人口増加に寄与する事業				
						<input checked="" type="radio"/>	4 住民サービス向上事業				
期待する効果	行橋駅東側における中心市街地の再生に寄与するものである。					<input checked="" type="radio"/>	5 防災関連事業				
						<input checked="" type="radio"/>	6 総合戦略対象事業				
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		最終目標				
	56%		78.4%		92.2%		進捗率100%				
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒										
年度の事業内訳	令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業の位置づけ				
	負担金(用地及び物件補償)		負担金(用地、物件補償及び工事)		負担金(用地、物件補償及び工事)		(この欄には事業全体の内容を記載のこと)				
事業計画(事業費、単位:千円)											
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業費			
財源内訳	国	0		0		0		0			
	県	0		0		0		0			
	地方債	129,200		186,700		106,300		866,200			
	負担金	0		0		0		0			
	その他	13,374		20,944		0		68,537			
	一般財源	0		0		11,966		35,750			
	合計	142,574		207,644		118,266		970,487			
予算費目	会 計	一般会計			会 計	費目名	土木費		費		
補助金		⇒	名称		対象事業費	0 千円	補助率(%)	0.0%	補助予定額	0 千円	
地方債	あり	⇒	名称	県営道路整備事業債	対象事業費	207,500 千円	充当率(%)	90.0%	充当予定額	186,700 千円	

事業番号	3260	事業名	JR行橋駅高架橋耐震補強事業				新規・既存の別	既存	
課名	都市政策課		係名	市街地整備係	主管課長名	シート作成者名			
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成 28 年度	～	令和 4 年度		
	施策項目	6. 公共交通の充実			根拠法令等	国土交通省 特定鉄道等施設に関する耐震省令			
事業概要	国土交通省が定めた「特定鉄道等施設に関する耐震省令」に基づき、九州旅客鉄道株式会社の行う耐震工事に 対し、地元自治体として補助をする。				事業の性質 (複数選択可)				
達成のめやす	令和4年度で事業を完了する。				<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業			
					<input checked="" type="radio"/>	2 緊急性の高い事業			
						3 人口増加に寄与する事業			
						4 住民サービス向上事業			
					<input checked="" type="radio"/>	5 防災関連事業			
						6 総合戦略対象事業			
						7 その他 ( )			
留意事項	H28年度に実際の設計工事を行った際に、想定の前補強筋よりも大きなものを使用する必要がでたり、地下水位が 高く矢板等が必要になり、全体事業費が約2億4千万円増額となり市負担分が約4千万円増額となっている。				優先順位マトリックス (ハード事業のみ)				
期待する効果	JR行橋駅高架橋の耐震化				最終目標				
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	進捗率100%					
	61%	73%	100%						
右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒									
年度の事業内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業の位置づけ					
	行橋駅・田町・西宮市高架橋耐震	行事・博多町・西宮市第二・大宮高架橋耐震	亀川・宮市高架橋・上宮市架道橋・上宮市高架橋耐震	(この欄には事業全体の内容を記載のこと)					
事業計画(事業費、単位:千円)									
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業費				
財源内訳	国	0	0	0	0				
	県	0	0	0	0				
	地方債	0	0	0	0				
	負担金	0	0	0	0				
	その他	0	0	0	0				
	一般財源	0	31,316	32,083	172,082				
	合計	0	31,316	32,083	172,082				
予算費目	会 計	一般会計		会 計	費目名	土木費	費		
補助金	⇒	名称		対象事業費	0 千円	補助率(%)	0.0%	補助予定額	0 千円
地方債	⇒	名称		対象事業費	0 千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0 千円

事業番号	3133	事業名	次世代自動車普及事業				新規・既存の別	既存	
課名	環境課		係名	環境係	主管課長名	シート作成者名			
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			令和	年度	～ 令和	年度	
	施策項目	7. エネルギー対策の推進			根拠法令等				
事業概要	地球温暖化の原因となる温室効果ガス削減のため、次世代自動車の普及を促進させることを目的とした補助金交付事業				事業の性質(複数選択可)				
					<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業			
					<input type="radio"/>	2 緊急性の高い事業			
					<input type="radio"/>	3 人口増加に寄与する事業			
達成のめやす	次世代自動車を普及させる。				<input type="radio"/>	4 住民サービス向上事業			
					<input type="radio"/>	5 防災関連事業			
留意事項					<input type="radio"/>	6 総合戦略対象事業			
					<input type="radio"/>	7 その他( )			
期待する効果	次世代自動車を普及させることにより、地球温暖化の原因となる温室効果ガスが削減される。				優先順位マトリックス(ハード事業のみ)				
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年		令和3年		令和4年		最終目標		
	次世代自動車を普及させる								
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと								
年度の事業内訳	令和2年		令和3年		令和4年		全体事業の位置づけ		
	次世代自動車購入補助金 @100,000円×12台=1,200,000円 @150,000円×20台=3,000,000円		次世代自動車購入補助金 @100,000円×12台=1,200,000円 @150,000円×20台=3,000,000円		次世代自動車購入補助金 @100,000円×12台=1,200,000円 @150,000円×20台=3,000,000円				
	(この欄には事業全体の内容を記載のこと)								
事業計画(事業費、単位:千円)									
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業費	
財源内訳	国	0		0		0		0	
	県	0		0		0		0	
	地方債	0		0		0		0	
	負担金	0		0		0		0	
	その他	0		2,940		0		0	
	一般財源	4,200		1,260		4,200		0	
	合計	4,200		4,200		4,200		0	
予算費目	会 計	会 計		費目名	費				
補助金	⇒	名称	対象事業費		0千円	補助率(%)	0.0%	補助予定額	0千円
地方債	⇒	名称	対象事業費		0千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0千円

事業番号	3372	事業名	ストックマネジメント支援事業				新規・既存の別	既存		
課名	下水道課		係名	下水道係	主管課長名		シート作成者名			
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)					
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成	29	年度	～	令和	年度
	施策項目	8. 上下水道の整備			根拠法令等					
事業概要	市民の快適な生活環境を保護し、浸水から生命・財産を守る。雨水ポンプ場、雨水幹線及び都市下水路について、老朽化した設備等の改築・更新を計画的に進め、持続的な機能の確保と、ライフサイクルコストの低減を図る。					事業の性質 (複数選択可)				
達成のめやす	各排水区域において浸水被害を出さない。					<input checked="" type="radio"/> 1 継続性のある事業 <input checked="" type="radio"/> 2 緊急性の高い事業 <input type="radio"/> 3 人口増加に寄与する事業 <input type="radio"/> 4 住民サービス向上事業 <input checked="" type="radio"/> 5 防災関連事業 <input type="radio"/> 6 総合戦略対象事業 <input type="radio"/> 7 その他 ( )				
留意事項										
期待する効果	中長期的な施設の状態を予測しながら、老朽化した下水道施設(雨水ポンプ場、雨水幹線及び都市下水路)の計画的・効率的な改築・更新を図る。					優先順位マトリックス(ハード事業のみ)				
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		最終目標			
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒									
年度の事業内訳	令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業の位置づけ			
	・設計委託費(東部ポンプ場基本設計、南部都市下水路事業認可申請) ・ポンプ場改良費(西部ポンプ場電気設備更新) ・排水路改良費(東部雨水幹線マンホール蓋更新)		・設計委託費(SM計画見直し) ・施設改良費(西部ポンプ場機械設備、東部雨水幹線マンホール蓋)		・設計委託費(SM計画見直し、東部ポンプ場詳細設計) ・施設改良費(西部ポンプ場機械・電気設備・建築)		(この欄には事業全体の内容を記載のこと)			
事業計画(事業費、単位:千円)										
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業費		
財源内訳	国	53,940		79,900		214,000		2,897,500		
	県	0		0		0		0		
	地方債	48,500		73,000		192,600		2,607,750		
	負担金	0		0		0		0		
	その他	0		0		0		0		
	一般財源	13,888		38,542		51,735		358,726		
	合計	116,328		191,442		458,335		5,863,976		
予算費目	会 計	一般会計		会 計	費目名	土木費		費		
補助金	あり	⇒	名称	社会資本整備総合交付金	対象事業費	161,100 千円	補助率(%)	40～50%	補助予定額	79,900 千円
地方債	あり	⇒	名称	公共事業等債	対象事業費	161,100 千円	充当率(%)	90.0%	充当予定額	73,000 千円

事業番号	2383	事業名	都市下水路施設補修工事費				新規・既存の別	既存			
課名	下水道課		係名	下水道係		主管課長名	シート作成者名				
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)					
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成	5	年度	～	令和	年度
	施策項目	8. 上下水道の整備				根拠法令等					
事業概要	都市下水路、雨水幹線、雨水ポンプ場、雨水貯留施設の維持管理補修。					事業の性質(複数選択可)					
						●	1 継続性のある事業				
						●	2 緊急性の高い事業				
							3 人口増加に寄与する事業				
							4 住民サービス向上事業				
						●	5 防災関連事業				
							6 総合戦略対象事業				
							7 その他( )				
達成のめやす	各排水区域において浸水被害を出さない。										
留意事項											
期待する効果	事後保全及び予防保全を実施し、設備の機能を維持し浸水被害の回避や軽減を図る。					優先順位マトリックス(ハード事業のみ)					
						<b>3</b>					
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		最終目標				
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒										
年度の事業内訳	令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業の位置づけ				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水路改修費(ゲート改修、草刈)</li> <li>ポンプ場維持費(除塵機修繕、空気圧縮機修繕)</li> <li>調整池浚渫費</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>排水路改修費(床版改修、水路改修、樹木伐採、草刈)</li> <li>ポンプ場維持費(開閉器更新、電磁弁更新)</li> <li>調整池浚渫費</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>排水路改修費(水路改修、草刈)</li> <li>調整池改修費(排水ポンプ設置)</li> <li>ポンプ場維持費(計装機器修繕、原動機修繕、場内整備)</li> <li>調整池浚渫費</li> </ul>		(この欄には事業全体の内容を記載のこと)				
事業計画(事業費、単位:千円)											
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業費			
財源内訳	国	0		0		0		0			
	県	0		0		0		0			
	地方債	0		0		0		0			
	負担金	0		0		0		0			
	その他	0		0		0		0			
	一般財源	14,329		19,908		15,000		0			
	合計	14,329		19,908		15,000		0			
予算費目	会 計	一般会計		会 計	費目名	土木費		費			
補助金	⇒	名称			対象事業費	0千円	補助率(%)	0.0%	補助予定額	0千円	
地方債	⇒	名称			対象事業費	0千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0千円	

事業番号	事業名 処理場建設改良費(公共下水道事業)					新規・既存の別	既存			
課名	下水道課	係名	下水道係	主管課長名	シート作成者名					
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)					
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成 29 年度	～	令和 年度			
	施策項目	8. 上下水道の整備			根拠法令等					
事業概要	日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防止し、計画的な点検・調査及び修繕・改築を行うことにより持続的な下水道機能の確保とライフサイクルコストの低減を図る。				事業の性質(複数選択可)					
達成のめやす					<input checked="" type="radio"/> 1 継続性のある事業 <input checked="" type="radio"/> 2 緊急性の高い事業 <input type="radio"/> 3 人口増加に寄与する事業 <input type="radio"/> 4 住民サービス向上事業 <input type="radio"/> 5 防災関連事業 <input type="radio"/> 6 総合戦略対象事業 <input type="radio"/> 7 その他( )					
留意事項										
期待する効果	中長期的な施設の状態を予測しながら、老朽化した下水道施設の計画的・効率的な改築・更新。				優先順位マトリックス(ハード事業のみ)					
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	最終目標						
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒									
年度の事業内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業の位置づけ						
	・実施設計(行橋浄化センター・西宮市污水中継ポンプ場)	・行橋浄化センター(電気設備改築) ・西宮市污水中継ポンプ場(電気設備改築、機械設備更新) ・SM計画見直し(行橋浄化センター、西宮市污水中継ポンプ場)	・行橋浄化センター(電気設備改築) ・西宮市污水中継ポンプ場(電気設備改築) ・SM計画見直し(行橋浄化センター、西宮市污水中継ポンプ場)	(この欄には事業全体の内容を記載のこと)						
事業計画(事業費、単位:千円)										
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業費					
財源内訳	国	5,653	76,130	161,700	652,240					
	県	0	0	0	0					
	地方債	5,000	57,900	121,400	587,010					
	負担金	0	0	0	0					
	その他	0	0	0	0					
	一般財源	2,227	14,985	22,900	79,230					
	合計	12,880	149,015	306,000	1,318,480					
予算費目	会 計	公共下水道事業		会 計	費目名	資本的支出	費			
補助金	あり	⇒	名称	社会資本整備総合交付金	対象事業費	141,100 千円	補助率(%)	50~55%	補助予定額	76,130 千円
地方債	あり	⇒	名称	下水道事業債	対象事業費	141,100 千円	充当率(%)	95.0%	充当予定額	57,800 千円

事業番号	事業名 污水管路建設改良費(公共下水道事業)					新規・既存の別	既存				
課名	下水道課		係名	下水道係	主管課長名	シート作成者名					
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)					
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成	5	年度	~	令和	年度
	施策項目	8. 上下水道の整備				根拠法令等					
事業概要	生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を目的とした管渠の建設を行い、下水道の整備を図る。					事業の性質(複数選択可)					
						●	1 継続性のある事業				
							2 緊急性の高い事業				
						●	3 人口増加に寄与する事業				
						●	4 住民サービス向上事業				
							5 防災関連事業				
達成のめやす	令和7年度、認可区域下水道整備率91.4%						6 総合戦略対象事業				
							7 その他( )				
留意事項	平成31年3月事業認可区域の拡大。現事業認可区域:421ha										
期待する効果	都市の健全な発達及び公衆衛生の向上ならびに公共水域の水質保全。					優先順位マトリックス(ハード事業のみ)					
						5					
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	最終目標							
	80.3%	83.4%	86.8%	100.0%							
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒										
年度の事業内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業の位置づけ							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>污水管渠 L=2,405m</li> <li>実施設計委託 L=2,950m</li> <li>家屋調査委託 N=120件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>污水管渠 L=2158.4m</li> <li>家屋調査委託 N=102件</li> <li>污水処理構想見直し 1式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>污水管渠 L=1,520m</li> <li>家屋調査委託 N=40件</li> <li>下水道事業全体計画見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>污水幹線 L=41,500m</li> <li>汚水面整備 A=1,618ha</li> <li>汚水中継ポンプ場 2箇所</li> <li>終末処理場 1箇所</li> </ul> (この欄には事業全体の内容を記載のこと)							
事業計画(事業費、単位:千円)											
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業費						
財源内訳	国	160,600	100,435	75,800	26,363,350						
	県	0	17,884	0	0						
	地方債	177,600	140,200	68,200	23,727,000						
	負担金	0	0	0	0						
	その他	17,920	10,043	7,600	2,636,350						
	一般財源	60,248	74,094	88,360	15,216,300						
	合計	416,368	342,656	239,960	67,943,000						
予算費目	会 計	公共下水道事業		会 計	費目名	資本的支出		費			
補助金	あり	⇒	名称	社会資本整備総合交付金	対象事業費	200,870 千円	補助率(%)	50.0%	補助予定額	100,435 千円	
地方債	あり	⇒	名称	下水道事業債	対象事業費	200,870 千円	充当率(%)		充当予定額	140,100 千円	



事業番号	事業名	行橋浄化センター処理場費(公共下水道事業)				新規・既存の別	既存		
課名	下水道課	係名	処理場係	主管課長名	シート作成者名				
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成	年度	～ 令和 年度		
	施策項目	8. 上下水道の整備			根拠法令等				
事業概要	行橋浄化センター施設・設備の維持管理及び工事修繕等を行う。				事業の性質(複数選択可)				
					●	1 継続性のある事業			
					●	2 緊急性の高い事業			
						3 人口増加に寄与する事業			
						4 住民サービス向上事業			
						5 防災関連事業			
						6 総合戦略対象事業			
						7 その他( )			
達成のめやす					優先順位マトリックス(ハード事業のみ)				
留意事項									
期待する効果	行橋浄化センターの予防保全的な管理が実施でき、事故発生や設備の機能停止等による下水道使用者への影響が回避できる。				優先順位マトリックス(ハード事業のみ)				
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	最終目標					
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒								
年度の事業内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業の位置づけ					
	・消耗品、光熱水費等 ・管理委託料、保守点検業務委託料、水質分析業務委託料等 ・行橋浄化センター維持管理費等	・消耗品、光熱水費等 ・管理委託料、保守点検業務委託料、水質分析業務委託料等 ・行橋浄化センター維持管理費等	・消耗品、光熱水費等 ・管理委託料、保守点検業務委託料、水質分析業務委託料等 ・行橋浄化センター維持管理費等	(この欄には事業全体の内容を記載のこと)					
事業計画(事業費、単位:千円)									
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業費				
財源内訳	国	0	0	0	0				
	県	0	0	0	0				
	地方債	0	0	0	0				
	負担金	0	0	0	0				
	その他	146,587	172,050	150,462	0				
	一般財源	0	0	0	0				
	合計	146,587	172,050	150,462	0				
予算費目	会計	公共下水道事業		会計	費目名	収益的支出			
補助金	なし	⇒	名称	対象事業費	0千円	補助率(%)	0.0%	補助予定額	0千円
地方債	なし	⇒	名称	対象事業費	0千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0千円

事業番号	事業名 西宮市中継ポンプ場費(公共下水道事業)					新規・既存の別	既存			
課名	下水道課		係名	処理場係	主管課長名	シート作成者名				
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち			事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)					
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト			平成	年度	~	令和	年度	
	施策項目	8. 上下水道の整備			根拠法令等					
事業概要	汚水中継ポンプ場の維持管理及び工事修繕等を行う。					事業の性質(複数選択可)				
						●	1 継続性のある事業			
						●	2 緊急性の高い事業			
							3 人口増加に寄与する事業			
							4 住民サービス向上事業			
							5 防災関連事業			
							6 総合戦略対象事業			
							7 その他( )			
達成のめやす										
留意事項										
期待する効果	汚水中継ポンプ場の予防保全的な管理が実施でき、事故発生や設備の機能停止等が回避できる。					優先順位マトリックス(ハード事業のみ)				
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	最終目標						
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒									
年度の事業内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業の位置づけ						
	・光熱水費等 ・管理委託料、保守点検委託料 ・汚水中継ポンプ場維持管理費等	・光熱水費等 ・管理委託料、保守点検委託料 ・汚水中継ポンプ場維持管理費等	・光熱水費等 ・管理委託料、保守点検委託料 ・汚水中継ポンプ場維持管理費等	(この欄には事業全体の内容を記載のこと)						
事業計画(事業費、単位:千円)										
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体事業費						
財源内訳	国	0	0	0	0					
	県	0	0	0	0					
	地方債	0	0	0	0					
	負担金	0	0	0	0					
	その他	7,820	8,929	7,551	0					
	一般財源	0	0	0	0					
	合計	7,820	8,929	7,551	0					
予算費目	会 計	公共下水道事業			会 計	費目名	収益的支出			
補助金	なし	⇒	名称		対象事業費	0千円	補助率(%)	0.0%	補助予定額	0千円
地方債	なし	⇒	名称		対象事業費	0千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0千円

事業番号	2256	事業名	従量制に伴うシステム更新事業				新規・既存の別	新規				
課名	環境課		係名		管理係		主管課長名		シート作成者名			
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)						
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				令和	3	年度	～	令和	7	年度
	施策項目	9. ごみ処理・リサイクル対策の推進				根拠法令等						
事業概要	現在のシステムは平成26年度に導入(Windows7)しており、令和2年1月でOSの延長サポート期間が終了している。これによりパソコンに不具合が生じた場合、システムが使用できなくなる可能性があることから、今回システムの更新を行うもの。						事業の性質(複数選択可)					
達成のめやす	システムの更新						<input type="checkbox"/>	1	継続性のある事業			
留意事項							<input checked="" type="checkbox"/>	2	緊急性の高い事業			
							<input type="checkbox"/>	3	人口増加に寄与する事業			
							<input checked="" type="checkbox"/>	4	住民サービス向上事業			
							<input type="checkbox"/>	5	防災関連事業			
期待する効果	保守管理とセキュリティの強化						優先順位マトリックス(ハード事業のみ)					
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		最終目標					
			従量制に伴うシステムの更新									
年度の事業内訳	令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業の位置づけ					
	保守委託 307,120円		従量制に伴うシステム更新委託料 @2,450,000円×1.10=2,695,000円  保守点検委託料 @279,200円×1.10=307,120円		保守委託料 @279,200円×1.10=307,120円		(この欄には事業全体の内容を記載のこと)					
事業計画(事業費、単位:千円)												
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業費				
財源内訳	国	0		0		0		0				
	県	0		0		0		0				
	地方債	0		0		0		0				
	負担金	0		0		0		0				
	その他	0		0		0		0				
	一般財源	308		3,003		308		0				
	合計	308		3,003		308		0				
予算費目	会 計		会 計		費 目 名		費					
補助金	⇒ 名称				対象事業費	0千円	補助率(%)	0.0%	補助予定額	0千円		
地方債	⇒ 名称				対象事業費	0千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0千円		

事業番号	2268	事業名	蛍光管・乾電池回収ボックス設置事業				新規・既存の別	既存				
課名	環境課		係名		管理係		主管課長名		シート作成者名			
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)						
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				令和	2	年度	～	令和	4	年度
	施策項目	9. ごみ処理・リサイクル対策の推進				根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
事業概要	拠点回収を実施している蛍光管・乾電池の回収ボックスが老朽化しているため、計画的に更新する。						事業の性質(複数選択可)					
							●	1 継続性のある事業				
								2 緊急性の高い事業				
								3 人口増加に寄与する事業				
達成のめやす	全26箇所(28台)更新						●	4 住民サービス向上事業				
								5 防災関連事業				
留意事項	現設置箇所の必要性について精査する。							6 総合戦略対象事業				
								7 その他( )				
期待する効果	蛍光管・乾電池の分別収集が効果的に行える。						優先順位マトリックス(ハード事業のみ)					
							5					
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度	令和3年度		令和4年度		最終目標						
	9箇所更新	9箇所更新		10箇所更新		合計26箇所(28台)更新						
	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒											
年度の事業内訳	令和2年度	令和3年度		令和4年度		全体事業の位置づけ						
	3年で更新を計画しているもので、初年度は特に痛みが激しいもの、利用頻度が高いもの、早急な対応が必要と思われる箇所を更新する。 @228,000円×9箇所×1.10=2,257,200円	3年で更新を計画しているもので、今年度は残されたもののうち、痛みが激しい箇所を更新する。 @249,000円×9箇所×1.10=2,465,100円		3年で更新を計画しているもので、最終年度は残された箇所を更新する。 @249,000円×10箇所×1.10=2,739,000円		(この欄には事業全体の内容を記載のこと)						
事業計画(事業費、単位:千円)												
		令和2年度	令和3年度		令和4年度		全体事業費					
財源内訳	国	0	0		0		0					
	県	0	0		0		0					
	地方債	0	0		0		0					
	負担金	0	0		0		0					
	その他	0	0		0		0					
	一般財源	2,258	2,466		2,739		0					
	合計	2,258	2,466		2,739		0					
予算費目	会 計	会 計		費 目 名		費						
補助金	⇒	名称	対象事業費		0千円	補助率(%)	0.0%	補助予定額	0千円			
地方債	⇒	名称	対象事業費		0千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0千円			

事業番号	3294	事業名	じん芥収集車購入事業				新規・既存の別	既存		
課名	環境課		係名		管理係		主管課長名		シート作成者名	
総合計画	基本目標	ひとが賑わうまち				事業の開始・終了(期間を設定していない場合は空白)				
	基本施策	基本施策1 インフラ整備プロジェクト				平成	年度	～	令和	年度
	施策項目	9. ごみ処理・リサイクル対策の推進				根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
事業概要	行橋市ごみ処理基本計画に基づき、市内の一般廃棄物を収集運搬処理することにより生活環境の保全と公衆衛生の向上を図るため、じん芥収集車等を購入する。					事業の性質 (複数選択可)				
達成のめやす	じん芥収集車等を購入することにより、効率的に収集運搬できる。					<input checked="" type="radio"/>	1 継続性のある事業			
留意事項						<input type="radio"/>	2 緊急性の高い事業			
						<input type="radio"/>	3 人口増加に寄与する事業			
期待する効果	一般廃棄物を効率的に収集運搬することができ、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図ることができる。					<input checked="" type="radio"/>	4 住民サービス向上事業			
						<input type="radio"/>	5 防災関連事業			
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		優先順位マトリックス(ハード事業のみ)			
	ごみ収集運搬を円滑にする		ごみ収集運搬を円滑にする		ごみ収集運搬を円滑にする		5			
年度の事業内訳	右欄に目標の単位と目指す内容の説明を記載のこと⇒					最終目標				
	令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業の位置づけ			
じん芥収集車1台購入 @10,900,000円 軽トラック1台購入 @1,327,150円 軽ダンプ1台購入 @2,094,092円 事務費 @26,400円		じん芥収集車1台購入 @11,259,000円 事務費 @14,000円		じん芥収集車1台購入 @11,259,000円 事務費 @14,000円		(この欄には事業全体の内容を記載のこと)				
事業計画(事業費、単位:千円)										
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		全体事業費		
財源内訳	国	12,700		10,000		10,000		0		
	県	0		0		0		0		
	地方債	0		0		0		0		
	負担金	0		0		0		0		
	その他	0		0		0		0		
	一般財源	1,649		1,273		11,273		0		
	合計	14,349		11,273		11,273		0		
予算費目	会 計	会 計		費 目 名		費				
補助金	あり	⇒	名称	調整交付金、再編交付金	対象事業費	10,000 千円	補助率(%)	100.0%	補助予定額	10,000 千円
地方債		⇒	名称		対象事業費	0 千円	充当率(%)	0.0%	充当予定額	0 千円